

平成 29 年度岩手県小・中学校学習定着度状況調査結果の概要について

岩手県教育委員会
平成 29 年 12 月

平成 29 年 10 月 4 日に実施された学習定着度状況調査結果の概要がまとまったので公表します。

なお、分析委員会において、詳しい分析を行い、12 月末日を目処に報告書としてまとめ、ホームページに掲載します。

1 調査の目的

各小・中・義務教育学校において、児童生徒一人一人の学習の定着状況を把握し、その結果を基に指導の充実を図る。

また、全県的な規模で学習の定着状況を把握するとともに、明らかになった学習指導上の問題点を教育施策に反映させることにより、本県児童生徒の学力向上に資する。

2 調査の内容

【調査実施日】

平成 29 年 10 月 4 日（水）

【調査対象】

(1) 小学校及び義務教育学校第 5 学年

国語・算数・理科・社会

(2) 中学校第 2 学年及び義務教育学校第 8 学年

国語・社会・数学・理科・英語

(3) 小・中・義務教育学校共通（調査対象学年は教科調査と同じ）

児童生徒質問紙調査

学校質問紙調査（全公立小・中・義務教育学校で実施）

【調査人数】

(1) 小学校及び義務教育学校第 5 学年（324 校）

（5 年生児童のいない 1 つの小学校を除く全公立小学校及び義務教育学校 323 校で実施）

国語（9,970 人） 算数（9,970 人） 理科（9,967 人）

社会（9,968 人） 質問紙（10,005 人）

(2) 中学校第 2 学年及び義務教育学校第 8 学年（162 校）

（全公立中学校及び義務教育学校 162 校で実施）

国語（10,278 人） 社会（10,277 人） 数学（10,271 人）

理科（10,269 人） 英語（10,276 人） 質問紙（10,324 人）

【出題の方針】

(1) 全体に係る出題方針

ア 読み・書き・計算といった学習基盤となる各教科等における基礎的・基本的な知識及び技能とともに、それらを活用して自らの人生を切り拓いていくために必要な思考力、判断力、表現力等の定着度を見るよう出題する。

イ 全領域を調査する。（英語の「話すこと」を除く。）

ウ 観点を明確にして作題する。（「関心・意欲・態度」は扱わない。）

- エ 過去の調査において、課題があるとされた内容についてその改善状況を把握したり、定着が図られているとされた内容について現在も維持できているかどうかを把握したりするために、経年比較の問題を2～3割程度以上出題する。
- オ 全国学力・学習状況調査（以下「全国学調」という。）における「主として活用に関する問題」で扱われている「出題の趣旨」に類する問題を、全調査教科において1～2割程度出題する。

（2）経年比較問題について

- ア 経年比較問題は、過去の県学調（以下「県学調」という。）等で課題が明らかとなった問題等を基に、次の類似問題または同趣旨の問題の形で作成する。
- ① 類似問題：過去に出題した問題の数値を差し替えたり、選択肢の一部を変更したりするなど、問題文の一部分のみを変更して、同じ内容を問う問題。
 - ② 同趣旨の問題：過去に出題した問題と同じ力を測るための問題で、問題文や内容は異なるが、問い方、答え方が同じで、難易度も同程度と考えられる問題。
- イ 教科の特性を考慮しながら、各学年・各教科において、上記①、②の問題を、それぞれ0～2割程度、合計で2～3割程度以上出題する。
- ウ 経年比較問題は、平成24年度～平成28年度の過去5年間の県学調等における調査の結果、課題が明らかになった問題等を基に作成する。
- エ 同一集団の経年比較を行うために、可能な教科については、小学校在学時の県学調や全国学調で課題が見られた問題を取り出し、中学校において類似問題を出題する。
- オ 4月の全国学調と関連させた分析が可能となるよう、全国学調の出題状況を分析の上、課題と見られる内容について、同年度の県学調で出題する。
- カ 各教科において選定した一部問題については、出題意図、過去の調査時の平均正答率、指導のポイントなどをまとめた解説資料を、解答例と一緒に各学校に提示する。
- キ 経年比較問題は、結果を取り出して分析・考察を行う。

（3）活用問題について

- ア 県学調において、イに示す全国学調の「活用問題」の趣旨を踏まえた問題を、各学年・各教科において、それぞれ1～2割程度出題する。
- イ 全国学調の活用問題の作成に係る基本理念には、「知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立てて実践し評価・改善する力などに関わる内容」と記述されている。すなわち、学校で学習してきた知識・技能等が、児童生徒を取り巻く様々な生活場面において、活用できることが求められている。

3 教科調査結果の概要

※以下、小学校第5学年に義務教育学校第5学年を、中学校第2学年に義務教育学校第8学年を含む。

（1）教科調査結果の状況等

ア 成果

- ① 多くの教科において、正答数が極端に少ないグラフ左端の層がほとんど見られず、基礎的な学習事項は概ね定着している。
- ② 中学2年の英語では、昨年度左側にあった中央の山が右側に移動し、中間層の平均正答率が高くなるという改善傾向が見られた。

イ 課題

① 各教科，特に中学2年において，無解答率の高い問題（20%以上）が見られた。特に中学2年の国語では，30字～50字程度で記述する問題，理科や社会では，記述で説明をする問題について，無解答率が高い状況となっている。

普段の授業の中で，文章や図，グラフから必要な情報を読み取り，それらの情報を整理しながら，思考した内容を言語化するなどの学習に取り組みせ，そのプロセスを個々に評価することで，児童生徒の意欲を高める必要がある。

② 経年比較問題のうち，課題が継続している問題が，小学5年，中学2年の国語において6問中5問，中学2年の数学において9問中6問となっており，引き続き授業改善の取組を進めていく必要がある。

※各教科の分析については，今後，報告書の中に記載する。

(2) 経年比較問題の状況等

過去の調査において課題が見られた問題等について，その改善状況を把握するために，経年比較問題を出題している。これらは，過去に出題された問題の類題（同一問題ではなく，同構造同内容の問題）で，各教科とも2～3割程度出題している。

各教科における経年比較問題の状況

() 内は昨年度数値

教科	学年	経年比較 問題数	課題状況の改善が 見られた問題	改善傾向が見られ たが引き続き注視 が必要な問題	依然として課題が 継続している問題
国語	小5	6 (6)	1 (2)	0 (1)	5 (3)
	中2	6 (6)	1 (3)	0 (1)	5 (2)
算数 数学	小5	6 (8)	2 (4)	0 (2)	4 (2)
	中2	9 (8)	1 (0)	2 (3)	6 (5)
英語	中2	6 (6)	3 (1)	2 (1)	1 (4)
理科	小5	9 (7)	4 (2)	3 (3)	2 (2)
	中2	14 (9)	4 (1)	5 (1)	5 (7)
社会	小5	9 (9)	7 (5)	1 (0)	1 (4)
	中2	8 (9)	2 (1)	4 (2)	2 (6)
全 体		73 (68)	25 (19)	17 (14)	31 (35)

※「課題状況の改善が見られた問題」とは，正答率が小学校70%以上，中学校60%以上となり，概ね良好な状況にある問題を指す。

※「改善傾向が見られたが引き続き注視が必要な問題」とは，前回調査より正答率が5ポイント以上伸びたが，全体の正答率がまだ満足できる状況とは言えない（小学校70%未満，中学校60%未満）問題を指す。

※「依然として課題が継続している問題」とは，前回調査からの正答率の伸びが5ポイント未満の問題を指す。

ア 成果

経年比較問題全体の状況を見ると，課題状況が改善されたのが34%（昨年度28%），改善傾向が23%（昨年度21%）となっている。また，小学5年の社会では，今年度の経年比較問題のうち，そのほとんどが改善または改善傾向となっており，昨年度の本調査の結果を受けて，各校において課題に対応した学習指導による改善が図られた。

イ 課題

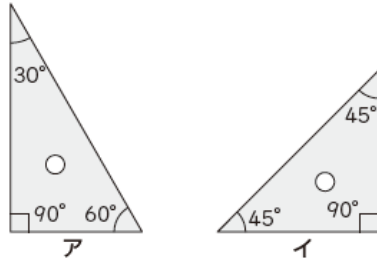
小学5年の国語・算数，中学2年の国語，数学，理科において，課題が継続している問題が多い。分析結果から，その要因について詳細な分析を行い，改善に向けてさらに取り組む必要がある。

経年比較問題の例 (課題の改善傾向が見られた問題)

H29 県学調【小学5年算数】

1組の三角定規を組み合わせてつくった角度を、言葉と式で説明することができる。

14 こうたさんとさなえさんは、アとイの三角じょうぎを使って、いろいろな角度をつくりました。

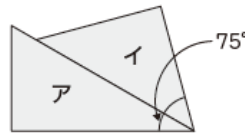


こうたさんは、図1のようにして75°をつくりました。
 こうたさんは、自分の考えを、次のように説明しました。

こうたさんの説明

アの三角じょうぎの30°のところと、
 イの三角じょうぎの45°のところを
 くっつけます。
 30°と45°を合わせると、75°が
 できます。
 これを式に表すと、
 $30 + 45 = 75$ になります。

図1

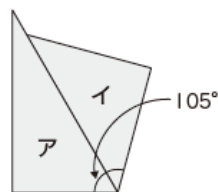


さなえさんは、図2のようにして105°をつくりました。
 さなえさんの考えを、こうたさんの説明と同じように、説明しましょう。 ※

さなえさんの説明

アの三角じょうぎの60°のところと、
 イの三角じょうぎの45°のところを
 くっつけます。

図2



県正答率 82%
 (昨年度類題正答率 67%)

第4学年では、図形の角の大きさに着目し、1組の三角定規を組み合わせていろいろな角度をつくる活動を通して、角の大きさを柔軟に表現したり、図形の考察に生かしたりできるようにする。その際、1組の三角定規を組み合わせてつくった角度について、言葉と式で説明することができるかどうかを見るために出題した。

本設問の正答率は82%で、前年度の類似問題の正答率を15ポイント上回り、1組の三角定規を組み合わせてつくった角度について、言葉と式で説明することについて改善傾向が見られる。学習指導に当たっては、例えば、本問題のように三角定規をくっつけて角の和をつくったり、三角定規を重ねて角の差をとったりする方法をいくつか取り上げ、角をつくる見方に着目して分類・整理することで、自分の考えを説明するだけでなく、様々な考え方について説明する機会を設定することが考えられる。

角の大きさは、図形を考察する要素の一つであり、角の大きさに着目すると、図形間の関係が捉えやすくなる良さを理解し、積極的に図形の考察に活用する資質・能力を育成することが重要である。

経年比較問題の例 (課題の改善傾向が見られた問題)

H29 県学調【中学2年数学】

一次関数の表と式を相互に関連付けて式で表し、その特徴を説明することができる。

12 次の表は、4つの1次関数について、 x の値と y の値の関係を示したものです。
1次関数は、一般に $y = ax + b$ のように表すことができます。

x	...	-2	-1	0	1	2	...	→ 式 $y = 2x + 5$
y	...	1	3	5	7	9	...	

x	...	-2	-1	0	1	2	...	→ 式 $y = 2x + 1$
y	...	-3	-1	1	3	5	...	

x	...	-2	-1	0	1	2	...	→ 式 $y = 3x + 1$
y	...	-5	-2	1	4	7	...	

x	...	-2	-1	0	1	2	...	→ 式 $y = \square$ ①
y	...	-1	2	5	8	11	...	

このとき、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 上の□①にあてはまる式を書きなさい。

県正答率 72%
(昨年度類題正答率 72%)

(2) 京子さんと保奈美さんは、4つの表と式をみて、次のようにいました。



京子さん

1次関数の式 $y = ax + b$ の a 、 b の値は、表から読み取ることができます。

b の値は、 $x = 0$ のときの y の値を見れば、計算しなくてもわかります。



保奈美さん

1次関数の式 $y = ax + b$ の a の値を求めるためには、表からどのようなことを読み取ればよいか説明しなさい。

県正答率 47%
(昨年度類題正答率 41%)

一次関数については、以前から課題が指摘されており、県学習定着度状況調査では平成26年度から単元の一部を出題できるよう出題範囲の見直し、本問題と同様の問題を継続的に出題し、その結果を踏まえて指導改善の取組を進めているところである。

一次関数の表からその特徴を読み取り、2つの数量の関係を $y = ax + b$ の式で表すことができるかをみる設問(1)の正答率が昨年度類題と同様の72%であったことから、本設問のように、一次関数の特徴を帰納的に捉えさせる活動を取り入れることが、指導改善の手立てとして有効であると考えられる。

また、一次関数の特徴を、表と式を相互に関連付けて説明することができるかを見る設問(2)の正答率は47%と課題が継続しているが、前年度の類題を6ポイント上回り、経年で出題している4年間では最も高く、改善傾向が見られる。誤答や無解答の生徒の中には、一次関数の特徴を見いだしても、それを適切に表現できなかった生徒がいると考えられる。依然として、教科書内容に加え、一次関数の特徴を表・式・グラフを相互に関連付けながら見いだしたり、生徒の学習状況に応じて柔軟に手立てを工夫したりする指導が不足しているためと考えられる。

H29 県学調【中学2年英語】 長文の概要・要点を理解する

7 次は、中学生のタク (Taku) が英語の授業でスピーチをすることになり、そのために書いた原稿です。これを読んで、あとの(1)～(3)の問いに答えなさい。

Hi, I'm Taku. I'm *interested in Australia. Do you know why? Today I'm going to talk about my *dream.

I like *outdoor activities. I often go fishing, cycling or *camping with my cousin, Kenji. He is twenty-five years old. He was also interested in outdoor activities. He often tells me about his stay in Australia.

When he was twenty, he found a *website about “*scuba diving” in Australia. So he visited Australia and stayed with a host family in Sydney. In Sydney, he often joined many kinds of outdoor activities. Then he made a lot of *Australian friends. He went to some famous places with them. He took a lot of pictures of outdoor activities in Australia; fishing, cycling, camping and scuba diving.

Two weeks ago Kenji showed some of the pictures to me. He said, “People in Australia enjoy many outdoor activities. I know you like them very much. Why don't you go to Australia? I think you'll enjoy your stay.”

Do you know our city has a student exchange program with Sydney? Now I'm interested in the program, so I'm reading a book about it. In Sydney, I must speak English. I'll study it hard. I hope I can make a lot of friends there and enjoy outdoor activities. (211 語)

be interested in : ～に興味がある dream : 夢
 outdoor activities : 野外での活動 camping : キャンプ
 website : (インターネット上の)サイト scuba diving : スキューバダイビング
 Australian : オーストラリア人の

(1) このスピーチの題名として最も適切なものを、次の1～4から1つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 Taku's friends in Australia
- 2 Kenji's stay in Australia
- 3 Taku's dream about Australia
- 4 Kenji and scuba diving

県正答率 59%
 (昨年度類題正答率 49%)

まとまりのある英文を読んで文章全体の概要や要点を捉える問題について、前年度の類題の正答率を10ポイント上回り、2年連続の改善傾向となった。

これまで、全文を読まず、前半のパラグラフの内容だけで判断してしまうことが課題として考えられていたが、一語一語や一文一文の意味のみにとらわれず、まとまりのある文章を最初から最後まで通して読み、「全体のあらすじを把握する」、「書き手の述べている大まかな内容を把握する」、「書き手の最も伝えたいことを捉える」など、各学校において日常的に、多様なリーディングを行っていることの成果であると考えられる。

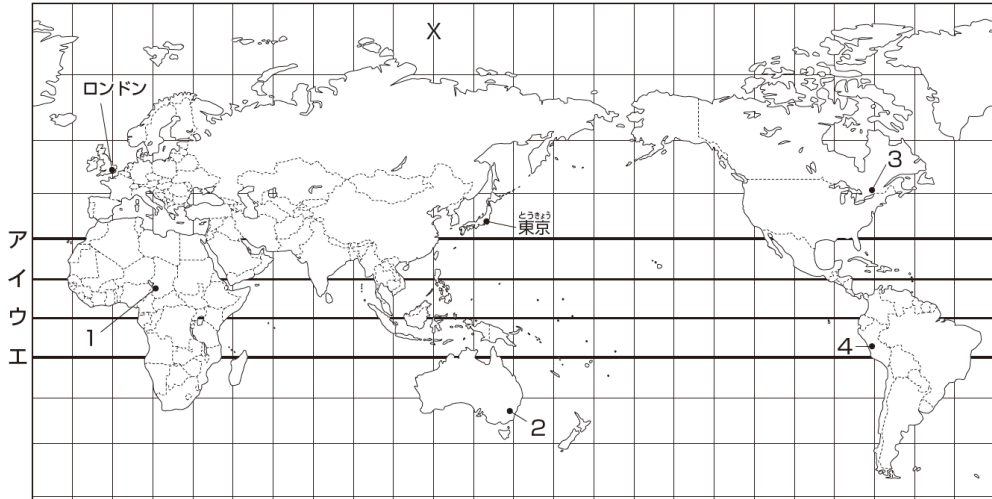
「必要な情報を読み取る」、「短い文章の概要を捉える」、「短い文章の要点を捉える」などの読み方は、次期学習指導要領の「読むこと」の目標にも示されている。目的を持たせた上で、テキストを通して読むという活動を継続させていくことが重要である。

経年比較問題の例 (課題の改善傾向が見られた問題)

H29 県学調【中学2社会】 **学習の基本となる様々な図法の地図を読み取ることができる**

1 次の地図Aを見て、あとの(1)～(3)の間に答えなさい。

地図A



(3) 次の地図Bは、中心である東京からの距離と方位が正しい地図です。地図A中の1～4の都市のうち、東京からの直線距離がロンドンとはほぼ等しい都市を、地図Bをもとに考えて1つ選び、その番号を書きなさい。

地図B

県正答率 66% ↑ H28 42% ↑ H27 38% ↑ H26 15%
--



問われている都市が、異なる図法の地図上において、どこに位置しているかを考える問題である。本年度正答率66%（経年比較問題は、昨年度42%、一昨年度38%）であり、改善傾向が見られている。

地図の学習においては、図法の特性に合った活用ができるよう指導していくことが大切であり、その際、生徒個々の実態把握に努め、適切な評価や助言を行うことにより、確実な定着につなげていく必要がある。

県教委では、学校教育指導指針の中で、「授業改善の重点として、目的を明確にして各分野の特質に応じた『言語活動』を充実させること」を示しており、地理的分野において、積極的に地図や統計資料を活用し、事象を読み取ったり解釈したりする学習が行われていると考えられる。

経年比較問題の例 (課題の改善傾向が見られるが、引き続き注視する問題)

H29 県学調【中学2年数学】

文章題から一元一次方程式を立式し、その方程式を解くことができる。

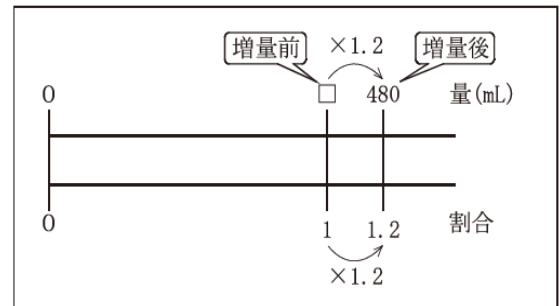
2 美奈恵さんは、スーパーにシャンプーを買いに来ました。そのスーパーでは、家で使っているシャンプーが、20%増量して売られています。増量後のシャンプーの量は480mLです。増量前のシャンプーの量を x mL とし、1次方程式をつくりなさい。また、その1次方程式を解いて、増量前のシャンプーの量を求めなさい。 ④



県正答率 16%

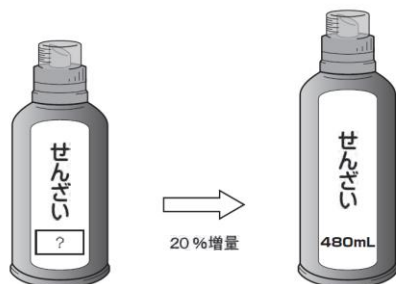
今年度調査対象の生徒が、小学校第6学年当時の平成27年度全国学力・学習状況調査小学校算数B②で、割合の理解について課題が指摘されており、その関連問題として、一元一次方程式の利用として出題したものである。本問題の正答率は16%で、平成27年度の正答率を若干上回っているが、引き続き課題が大きい。

学習指導に当たっては、小学校算数科における学習の状況を踏まえ、いつものシャンプーの量を□mLとして、1.2倍の量が480mLであることを、右の図のような数直線などに表す活動を通して、「20%増量」を「1.2倍の量」と読み解くことができるようにするとともに、「□の1.2倍が480だから、式は、 $\square \times 1.2 = 480$ になる。」というように数量の関係を捉えて方程式を立式したり、方程式を解いて基準量を求めたりできるようにすることが重要である。



<参考> 平成27年度全国学力・学習状況調査 小学校算数B② (2)

(2) 次に、せんざいを買います。家で使っているせんざいが、20%増量して売られていました。増量後のせんざいの量は480mLです。増量前のせんざいの量は何mLですか。求める式と答えを書きましょう。

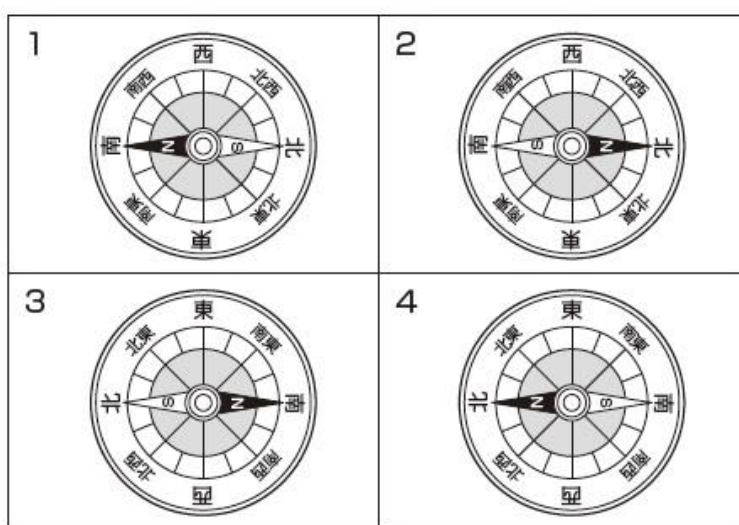


平均正答率 岩手県 9.2% 全国 13.1%

経年比較問題の例 (課題の改善傾向が見られるが、引き続き注視する問題)

H29 県学調【小学5年理科】 **方位磁針を正しく使うことができる**

(2) 図2のように、ひろみさんは、方位じしんを使って、東の空の星を観察しました。図2の②にあてはまる図として、正しいものはどれですか。次の1～4の中から1つ選び、その番号を書きましょう。



県正答率 60%
(昨年度類題正答率 31%)

平成 28 年度の調査では正答率 31%であったが、今年度の調査では正答率 60%となっており、改善の傾向が見られる。

理科における観察・実験の技能に関する問題（方位磁針，顕微鏡等の操作）については，例年課題となっており，観察・実験を大切に授業展開について，各学校へ指導・周知を図ってきているところである。今回，本問題においては，平均正答率が 29 ポイント上昇し，改善が見られた。

しかしながら，4 割の児童が誤答であること，また中学校においては顕微鏡の操作に関する問題にも課題が見られることもあり，観察・実験の技能が十分に高まったとは言えない状況である。今後も観察・実験を丁寧に行う授業展開を普及していくとともに，各学校においては，実験器具等の操作方法について，児童生徒への確実な定着を意識した年間指導計画や単元指導計画を作成し，実施していくことが大切である。

5 次の文章を読んで、あとの(1)～(4)の問題に答えなさい。

- ① 茶道や武道の世界には、「守・破・離」という教えがあります。これはその人のレベルに応じて、それぞれの段階でどのようなことを実践すべきかを示したものです。三つの段階を簡単に説明しておく、「守」は決まった作法や型を守る段階、次の「破」はその状態を破って作法や型を自分なりに改良する段階、そして、最後の「離」は作法や型を離れて独自の世界を開く段階です。
- ② 一般的には、すべての学習はまねから始まります。手本に従ってそれと同じようにすることを求められるのです。これがまさに「守」です。決められていることを生真面目に守るこの段階は、繰り返しも多く非常に面倒だし、なによりもやっているとのおもしろくありません。そのためそこで我を通して自己流でいきながら人がいます。ア、自分の土台をつくるためには、素直に手本をまねるほうが結果として早く進歩することができます。
- ③ 実際、初期の段階で我慢して手本のまねを徹底的に繰り返していると、そのうちに手本と同じようにやることの意味や、手本から外れたときに生じるデメリットが理解できるようになります。ここまでくると「強制されて仕方なく守っている」というより、「自ら望んで守っている」という状態になります。やっていることの内容や価値を自分なりに理解しているのです、自分の意思で率先して手本を守るようになるのです。
- ④ ところで、世の中にはこの状態で満足してしまう人がたくさんいます。そのような人は、当然のことながらそれ以上の進歩はありません。
- ⑤ 本当に楽しいのはここからです。この段階まで来た人は、自分で創意工夫をしながらいろいろなことが試せるようになります。内容を理解しているため、従来の方法よりもっといい方法はないかと自分で探そうとすることができ、そのような能力があるのに何もしないのはもったいないことです。
- ⑥ そして、この状態がまさに作法や型を破る「破」の段階です。基本的には、作法や型を手に入れた、そこからさらに出ようと意識して行動した人だけが進歩を続けられるのです。もちろん、このときの試行錯誤はしっかりと経験と根拠に基づくもので、初心者があてずっぽうで行動するのはまったく違います。決められた道から外れても、それによって致命的な失敗を犯す危険性はきわめて低いし、むしろこのときの行動はより効率的で合理的な方法の創出につながる可能性も大です。
- ⑦ 従来の作法や型を破るといえるのは、悪いことのように思えます。イ、変化のあまりない業界ではともかく、現実の世界ではそのようにしなければいけない場面は意外にたくさんあります。
- ⑧ それは時代の変化とともに、周囲の条件の変化も必ず起こっているからです。こうした場合は従来の作法や型をそのまま使うことに無理が生じるわけですから、それに合わせて作法や型を変えていくのはむしろ当然といつてもいいでしょう。何より条件が変わっているのに従来の作法や型をそのまま使っていることの方が、問題であり危険なことなのです。
- ⑨ いずれにしても、このような試行錯誤を何度も繰り返した人は、理解と経験に基づいてこれまでとはまったく別のものを自分の力で新たな生み出すことができます。これが最後の「離」の意味です。このレベルにある人は、従来の技術やシステムを常に効率よく運用できるだけでなく、制約条件の変化や外部からの新たな要求に合わせて全体をつくり変えることもできます。それゆえ「離」に到達した人は「優れた創造力の持ち主」とされているのです。

※ デメリット：短所。

(畑村洋太郎「組織を強くする 技術の伝え方」より)

設問(3) 次の、竹田さんがこの文章の内容をまとめたものです。□に当てはまる言葉を、「変化」「従来の方法」という言葉を使って、40字以上50字以内で書きなさい。

茶道や武道などの伝統を重んじる世界においても、従来の方法を破り、独自の方法を創造しようと試みる必要がある。なぜなら、□からだ。ただし、その前に自分のレベルに応じて実践すべきことがあり、段階を踏んで進歩する努力を続けた人だけが、自分の力で新たな方法を生み出すことができる。

正答例(省略)

県正答率 36%

今年度の国語の調査結果を見ると、目的や意図に応じて、内容や要旨を的確に捉えて読むことに課題が見られ、無解答率も約3割と高い状況にある。ここ数年課題となっている点であり改善が求められる。

今回、上記の問題5においては、文章を読んで「守・破・離」の三つの段階についての内容を読み、設問文と照らし合わせながら、「破」に着目してその必然性にふれてまとめる調査問題である。形式段落1に書かれている3つの段階について、どの段落がそれらを詳しく説明している段落になっているかという文章の構成に着目して、段落のつながりを捉えて読むことが求められる。特に、形式段落6～8と9のつながりから、「破」と「離」の段階の関係性を捉える必要がある。

段落ごとに内容を捉えることに終始せず、それを踏まえて、文章の中心部分に着目しながら段落相互の関係を考えたり、更に大きな意味のまとまりごとに文章全体の中で果たしている役割を押さえたりして読む学習が必要である。そのような学習にふさわしい言語活動を設定し、文章の展開に即して要旨を捉える力を着実に身に付けることが今後一層重要である。

(3) 活用問題の状況

これまでの県学調や全国学調の結果から、基礎的・基本的な知識技能の活用を図る問題に課題が見られることから、各教科において、活用に関する問題を1～2割程度出題した。

各教科における活用問題の状況

()内は昨年度数値

教科	学年	問題数	活用問題の平均正答率	教科	学年	問題数	活用問題の平均正答率
国語	小5	5 (5)	42(50)	算数 数学	小5	4 (5)	54(61)
	中2	7 (7)	45(56)		中2	6 (6)	51(44)
理科	小5	4 (5)	63(51)	社会	小5	4 (4)	69(51)
	中2	5 (8)	34(30)		中2	4 (4)	39(35)
英語	中2	3 (3)	41(22)				

活用問題は、生徒の思考力・判断力・表現力等を問う問題であり、こうした問題に対応するためには、日常の授業において言語活動をより一層充実させていくことが大切である。学年や教科の枠を超えて、学校全体で取組を進めながら改善を図る必要がある。

(4) 今後の学習指導の改善に向けて

本調査の分析結果について、学校全体で組織的に学力向上の取組を進める際に、その内容を全ての教員で共有し、活用を図る必要がある。その際、活用方法についても、学校全体で確認することが大切である。

また、学校全体の結果概要とあわせて、児童生徒個々の状況についても、詳細な分析を行い、その結果を活用して、一人一人の課題の解決に向けて、指導改善を行うことが求められる。

4 質問紙調査結果の概要と傾向

(1) 分かる授業について

県教委では、いわて県民計画アクションプランの政策項目「児童生徒の学力向上」において、平成23年度から「授業が分かる」と答えた児童生徒の割合を指標に取り組んでいる。

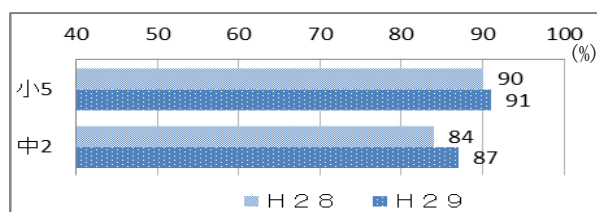
小学5年は、全ての教科で肯定的回答が9割近くとなっており、中学2年は、**5教科全てにおいて肯定的回答が増えている**。各学校において、児童生徒に寄り添いながら、個々の状況に応じた丁寧な学習指導が行われていることが分かる。

また、肯定的回答のうち、「よく分かる」という積極肯定も、多くの教科で伸びており、特定の教科に偏ることなく、学校全体で学力向上に取り組んでいることが分かる。

しかしながら、改善傾向は見られるものの、中学2年における肯定的回答の割合が、小学5年と比較すると低いという課題は、継続している。

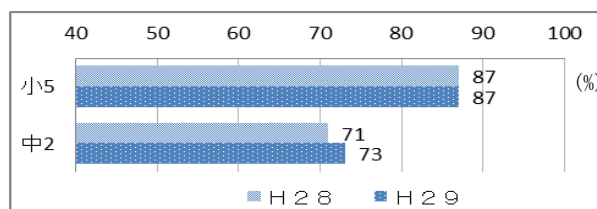
質問事項32(中31): 国語の授業の内容はよく分かりますか。

学年	年	よく分かる	どちらかといえば分かる	どちらかといえば分からない	分からない
小学5年	H28	42	48	8	2
	H29	44	47	7	2
中学2年	H28	29	55	12	4
	H29	33	54	10	3



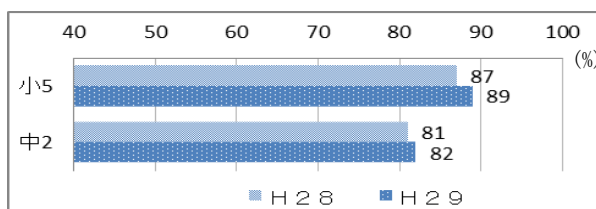
質問事項36(中35): 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか。

学年	年	よく分かる	どちらかといえば分かる	どちらかといえば分からない	分からない
小学5年	H28	48	39	10	3
	H29	51	36	10	3
中学2年	H28	31	40	20	9
	H29	34	39	18	8



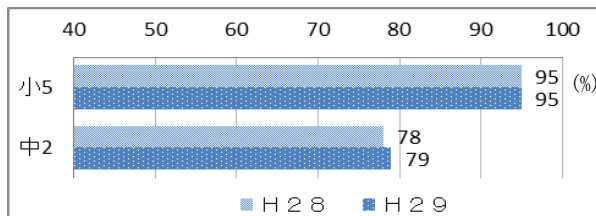
質問事項40(中39): 社会の授業の内容はよく分かりますか。

学年	年	よく分かる	どちらかといえ ば分かる	どちらかといえ ば分からない	分からない
小学5年	H28	46	41	10	3
	H29	51	38	9	2
		89	11		
中学2年	H28	37	44	15	5
	H29	40	42	13	5
		82	18		



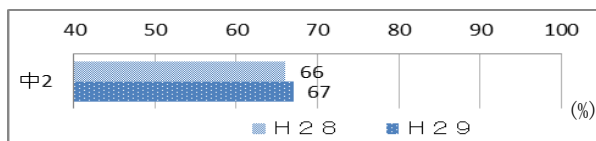
質問事項44(中43): 理科の授業の内容はよく分かりますか。

学年	年	よく分かる	どちらかといえ ば分かる	どちらかといえ ば分からない	分からない
小学5年	H28	64	31	4	1
	H29	65	30	4	1
		95	5		
中学2年	H28	34	44	16	6
	H29	36	43	16	6
		79	22		



【中学校】質問事項47: 英語の授業の内容はよく分かりますか。

学年	年	よく分かる	どちらかといえ ば分かる	どちらかといえ ば分からない	分からない
中学2年	H28	27	39	22	11
	H29	27	40	22	11
		67	33		



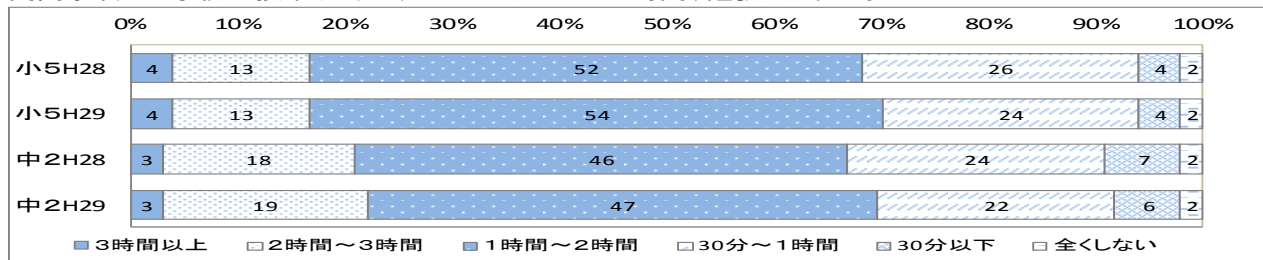
今後も、児童生徒個々の状況に合わせた指導を続けていくとともに、次期学習指導要領で示されている「主体的・対話的で深い学び」の実現のための授業改善の取組を、各学校で組織的に取り組む必要がある。

(2) 学校の授業以外の学習時間について

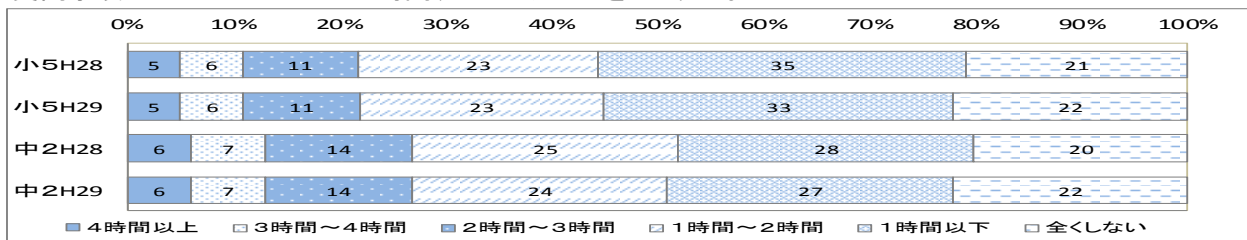
小学5年、中学2年ともに、昨年度から大きな変化は見られず、30分以下（全くしない含む）の生徒が約1割となっており、継続した課題となっている。

また、学習以外の時間の使い方については、テレビゲームの時間は減少傾向にあるものの、携帯電話やスマートフォンの使用時間が、小・中ともに増加しており、学校以外での生活のあり方について、家庭との連携をさらに深めていく必要がある。

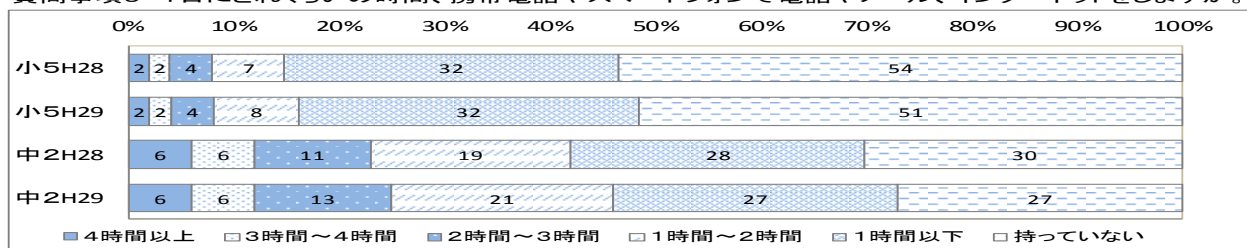
質問事項10 学校の授業以外で、1日にどれくらいの時間、勉強しますか。



質問事項8 1日にどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。

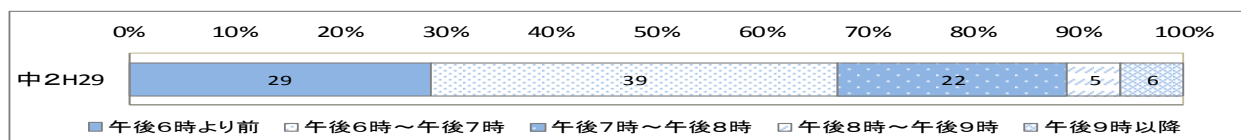


質問事項9 1日にどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで電話やメール、インターネットをしますか。

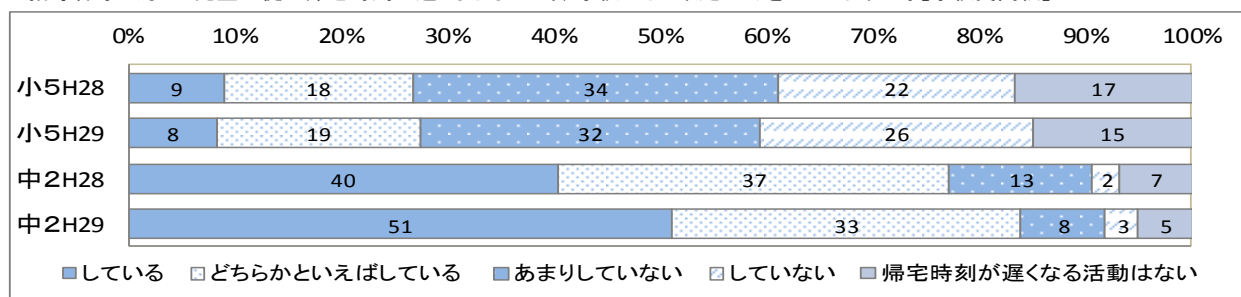


また、学校の活動や課外活動を終えて帰宅する時刻について、午後8時以降が11%、うち、午後9時以降が6%となっている。学校質問紙調査では、帰宅時刻が遅くならないよう、部活動やスポーツ少年団活動を適切に行うための呼びかけを行う学校は増えてきているものの、一方では、働きかけを「あまり行っていない」、「行っていない」という否定的回答もいまだにあることから、土・日の活動も含めた児童生徒の適正な活動のあり方や家庭学習について、保護者や地域と連携しながらの取組が求められる。

質問事項6 平日(月～金)、学校の活動や課外活動を終えて帰宅する時刻は何時頃ですか。



質問事項33 平日の部活動や父母会の活動、スポーツ少年団等の活動について、部活動顧問や父母会・スポーツ少年団活動の責任者や指導者等に対して児童生徒の帰宅時刻が遅くならないよう、学校からの働きかけをしていますか。【学校質問紙】

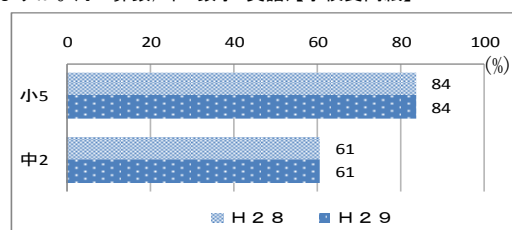


学校で学習した内容を、児童生徒に確実に定着させるためには、授業の質を高める時に、授業との関連を図った課題の内容や出し方等を工夫することが必要となる。そのような工夫をして宿題を計画的に出している割合は、昨年度と同様の結果となっており、**中学校で積極肯定が61%**と、依然として課題が続いている。また、家庭学習について校内で共通理解を図っている割合も、中学校が特に課題となっている。

「家庭学習の質・量の保障」と「授業改善」は、児童生徒の学力向上実現のために両輪として機能する必要がある。特に、中学校では、学年・教科の間で共通理解を図り、適切な宿題のあり方を検討することが大切である。

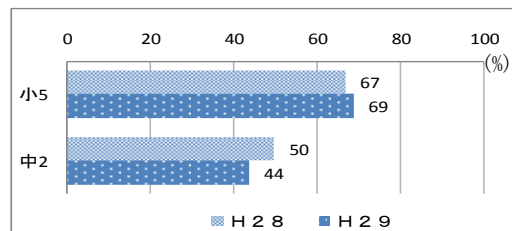
質問事項15 授業内容の理解を促進する家庭学習の課題(宿題)を、計画的に出していますか。(小5算数、中2数学・英語)【学校質問紙】

学年	年	出している	どちらかといえば出している	あまり出していない	出していない
小学5年	H28	84	15	1	0
	H29	84	16	0	0
		99		1	
中学2年	H28	61	37	2	0
	H29	61	37	2	0
		98		2	



質問事項18 家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図っていますか。【学校質問紙】

学年	年	図っている	どちらかといえば図っている	あまり図っていない	図っていない
小学5年	H28	67	30	3	0
	H29	69	28	3	0
		97		3	
中学2年	H28	50	41	9	0
	H29	44	47	9	0
		91		9	



子供たちが、家庭でじっくりと宿題に取り組むためには、学習環境作りも大切である。「知・徳・体」のバランスの取れた子供たちを育てることが、学力向上に必要なことから、一日の生活の過ごし方を見つめ直すなど、様々な側面から、家庭学習の充実を目指した取組をより一層進めていく必要がある。

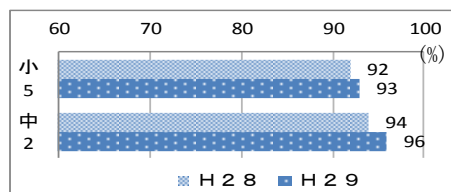
(3) 「いわての授業づくり3つの視点」について

平成27年度から、県教委では各学校に「いわての授業づくり3つの視点」を示し、授業の中で、「学習の見通し」「課題を解決するための学習活動」「学習の振り返り」の3つの場面を設定し、児童生徒の確かな学びの実現に向け取り組んできている。

調査の結果、「学習の見通し」「学習の振り返り」とともに良い状況が継続しており、「3つの視点」が各学校で確実に浸透してきていることが分かる。今後は、その質的な向上を図り、目標（めあて・ねらい）の吟味や、学習内容のさらなる改善を進めていくことで、子供たちの「授業が分かる」の向上につなげていく必要がある。

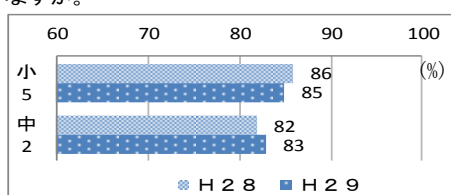
質問事項26(中25): 普段の授業で、目標(めあて・ねらい)が示されていると思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
小学5年	H28	63	29	5	2
	H29	66	27	5	2
		92		7	
中学2年	H28	66	28	4	1
	H29	71	25	3	1
		94		5	
		96		4	



質問事項27(中26): 普段の授業で、最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていると思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
小学5年	H28	48	38	10	3
	H29	48	37	12	3
		86		13	
中学2年	H28	37	45	14	4
	H29	40	43	13	3
		82		18	
		83		16	



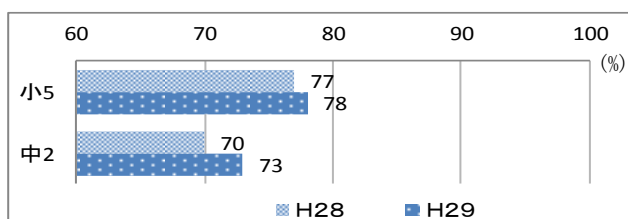
(4) 児童生徒の自尊感情に関する項目について

国際的な調査から、日本の子供たちの自尊感情が低いことが指摘されている。本県では、「自分にはよいところがあると思いますか」の肯定的回答が、小学5年で1ポイント、中学2年で3ポイント上昇しており、改善傾向が見られる。同様に、「自分のよいところを認めてくれている」と感じている児童生徒も増加傾向にあることから、学校生活の様々な場面で、他者から認められる経験が、子供たちにとって大切であることが分かる。

また、「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか」の肯定的回答は高い状況にあり、今後も、努力やその成果が他者から認められる場面を作ることが必要である。教師からの評価だけでなく、児童生徒が互いに認め合える集団を、学級や学年で作り上げるなど、指導を工夫していく必要がある。

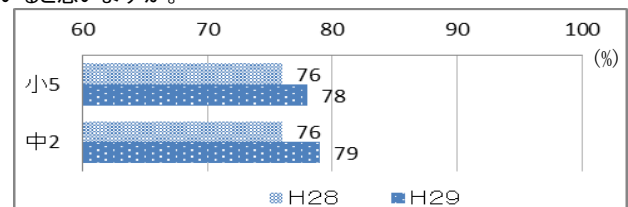
質問事項4(中3): 自分にはよいところがあると思いますか。

学年	年	あると思う	どちらかといえば あると思う	どちらかといえば ないと思う	ないと思う
小学5年	H28	31	46	15	7
	H29	34	44	14	7
		77		22	
中学2年	H28	24	46	20	9
	H29	26	47	18	9
		70		29	
		73		27	



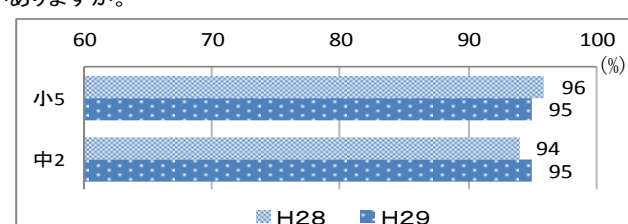
質問事項19: 先生やまわりの人は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
小学5年	H28	30	46	16	7
	H29	33	45	15	7
		76		23	
中学2年	H28	27	49	16	8
	H29	30	49	14	7
		76		24	
		79		21	



質問事項3(中2): ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。

学年	年	ある	どちらかといえば ある	どちらかといえば ない	ない
小学5年	H28	70	26	3	2
	H29	71	24	4	1
		96		5	
中学2年	H28	69	25	4	1
	H29	71	24	3	2
		94		5	
		95		5	



(5) 「諸調査結果を活用した、組織的な学力向上の取組」について

現在、県教委では、各学校において、本調査等の結果を分析し、それらを活用した組織的な学力向上の取組を推進している。また、全国学調の結果から、諸調査の結果を家庭や地域と共有し、一体となって教育活動に取り組むことが、課題と捉えている。

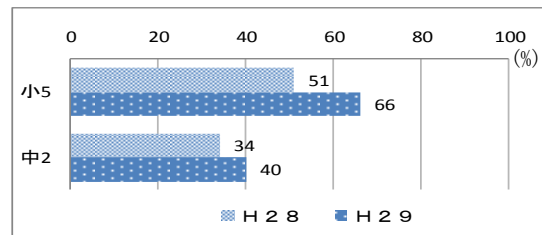
それらの状況を確認するため、児童生徒及び学校質問紙において実態を調査した。

ア 諸調査結果の活用

昨年度の諸調査結果の活用について、積極肯定の回答が、小学校が15ポイント、中学校が6ポイント上昇している。しかしながら、組織的な課題分析や指導改善については、中学校で2ポイント下降するなど、依然取組が積極的には行われていない状況も見られる。

質問事項22 昨年度の諸調査の自校の分析結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか。【学校質問紙】

学年	年	活用した	どちらかといえば活用した	あまり活用していない
小学5年	H28	51	47	2
		98		
小学5年	H29	66	33	1
		99		
中学2年	H28	34	64	2
		98		
中学2年	H29	40	58	2
		98		

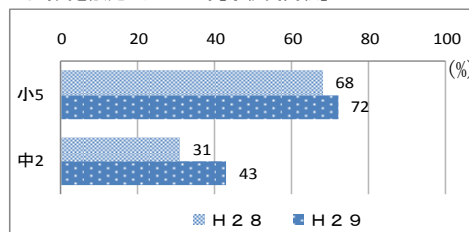


イ 組織的な学力向上の取組

現在、子供たちに求められている能力を確認するために、全国学調や県学調の問題を全教員で解いてみる時間を設定することについて、「実施予定」も含めると、小学校で99%、中学校でも90%を超えており、取組が浸透してきていることが分かる。また、教員の授業力を高めるための研修としての、教員相互の授業参観も、実施する学校が増えてきており、各校において、日常的に学力向上に取り組んでいることが分かる。

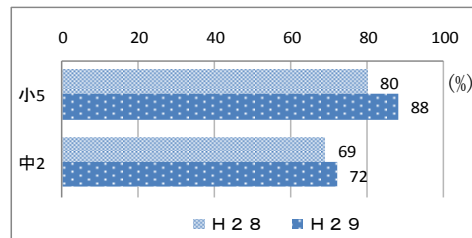
質問事項24 県学調・全国学調の問題の一部を、全教員で解いてみる時間を設定しましたか。【学校質問紙】

学年	年	設定し実施した	設定し年度中に実施予定	設定していない
小学5年	H28	68	29	3
		97		
小学5年	H29	72	27	1
		99		
中学2年	H28	31	52	17
		83		
中学2年	H29	43	48	9
		91		



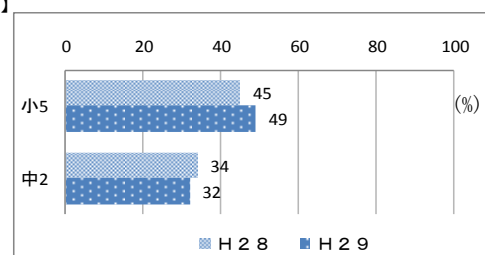
質問事項25 授業改善に向けて、校内研修に位置付けた教員相互の授業参観に取り組んでいますか。【学校質問紙】

学年	年	取り組んでいる	どちらかといえば取り組んでいる	あまり取り組んでいない	取り組んでいない
小学5年	H28	80	16	3	1
		96			4
小学5年	H29	88	11	1	0
		99			1
中学2年	H28	69	25	6	0
		94			6
中学2年	H29	72	23	5	0
		95			5



質問事項28 昨年度の県学習定着度状況調査の「集計・分析シート」の内容等から、学習に関する状況や課題を全ての教員で共有し、学校として組織的に課題の分析や指導方法の改善等に取り組んでいますか。【学校質問紙】

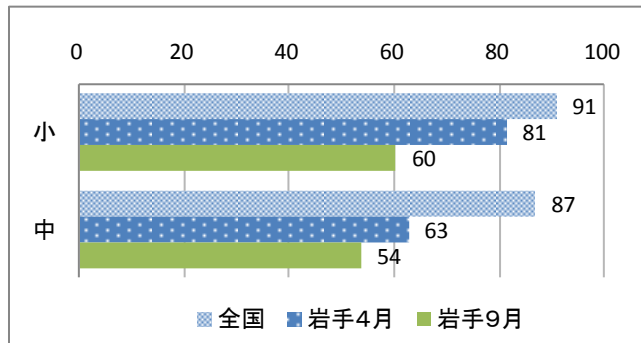
学年	年	取り組んでいる	どちらかといえば取り組んでいる	あまり取り組んでいない	取り組んでいない
小学5年	H28	45	51	4	0
		96			4
小学5年	H29	49	49	2	0
		98			2
中学2年	H28	34	60	6	0
		94			6
中学2年	H29	32	62	6	0
		94			6



ウ 保護者や地域との情報の共有

学力向上の実現には、学校と保護者・地域が協力して、子供たちに関わっていくことが大切である。そのためには、現在の子供たちの学力の状況と、その改善のための方向性や取組について、学校が保護者や地域と共有する必要がある。今回、全国学調の質問紙調査において、全国比で低く現れた項目について、調査を行った。

平成28年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行った(学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)【全国学力・学習状況調査】



※「岩手9月」は、今回調査を行った平成29年度全国学調の公表の状況

昨年度の状況は、小学校で81%、中学校で63%の公表状況であり、ともに全国と比較すると低い状況であった(調査は今年4月に実施)。平成29年度の全国学調の結果については、8月に各学校に送付されており、今後、保護者や地域への公表を実施する予定の学校もあると考えられる。よって、本項目については、今後注視していくこととする。

5 調査結果の活用と今後の取組

調査結果についての詳細と分析結果のまとめについては、教科ごとに授業改善及び事後指導のための資料を作成し、ホームページ上に掲載し、確実な定着に向けた取組を支援していく。

各市町村教育委員会及び各学校には、課題となった部分を次年度の指導計画へ確実に反映させ、課題解決のための授業改善を図るとともに、組織的対応に積極的に取り組む学校の割合が増加するよう、より一層の主体的取組を期待する。

諸調査結果の活用の視点として、今後、特に以下の点に力を入れていきたいと考える。

<重点目標>

諸調査結果を活用した「学校の組織的対応の強化」

児童生徒に確かな学力を保障するために、児童生徒の実態に立脚し、客観的なデータ(エビデンス)をより一層効果的に活用しながら、何が課題であるのか、そのつまづきはなぜ生じているのかについて、指導方法のみならず教育課程の編成や組織運営を含めた解決の手立てを学校内で検討し、全職員が当事者として取り組む。

<具体的取組>

ア 前年度内に作成した「『確かな学び、豊かな学び』実現プラン」を活用し、各学校における検証改善のサイクル(CAPDサイクル)を構築する

- ① 「『確かな学び、豊かな学び』実現プラン」に基づいた取組を全職員で展開すること
- ② 「誰が」「何を」「いつ」「どのように」「どの程度」行うのかを明確にして取り組むこと
- ③ 取組の結果として、目標について検証するとともに、組織的な取組についても成果や課題を明らかにして次年度につなげること

イ 全職員で取り組む校内体制の整備と実践

- ① 学級や教科，学年の壁を越えて組織的な対応を図るための校内体制を見直し，**全職員参画による課題解決のための運営**となるよう，主任層（教務主任や研究主任，学年主任等）が中核となり，取組を展開すること
- ② 授業力向上を目指した教員相互の授業参観を計画的に行い，その授業参観の視点として「**いわての授業づくり3つの視点**」を参考とすること
- ③ 県学調や全国学調の問題を全教員が解いてみる機会を設定するなどして，今求められている学力についての理解を深め，日常の「**授業**」を核とした取組を推進すること
- ④ 学習内容の理解を一層促進するために，**家庭学習について質と量の両面から課題を共有**し，改善を図ること

ウ 校種間連携，保護者・地域との連携の一層の推進

- ① 中学校新入生学習状況調査や高校基礎力確認調査の結果を有効な資料として活用した校種間連携を図ること
- ② 小問分析から見えた課題を校種間で共有し，学習指導における解決策を探ること
- ③ 諸調査の分析結果やそれを受けての学校としての学力向上等の取組や家庭学習について，保護者・地域に対して働きかけ，連携を図ること

そのために県教育委員会として，今後，以下の点について取り組んでいく。

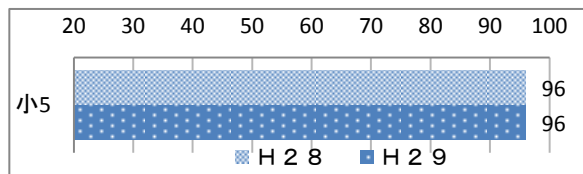
- ① 「諸調査結果を効果的に活用して組織的に対応している学校の実践事例」を普及拡大すること
- ② 各学校における調査結果の分析を基にした指導改善計画の作成及び実践について，継続的な支援を強化すること
- ③ 各学校の課題解決に向けて，授業改善という視点に加え，教育課程の改善という視点について，市町村教育委員会と共通理解を図りながら，学校の支援をすること
- ④ 各学校の学力調査の分析結果を保護者や地域に周知するとともに，結果を踏まえた学校の取組について理解や協力を得ることができるよう学校評価の取組を市町村教育委員会と連携して推進すること
- ⑤ 数学について，様々な研修会や指導主事による訪問指導の機会を通じて全国学力・学習状況調査及び県学習定着度状況調査等の分析結果を活用し，指導と評価の一体化を図るための取組を一層充実すること
- ⑥ 家庭学習の質的量的な改善に向けて，家庭学習の時間と教科に関する調査や児童生徒質問紙調査とをクロス分析した資料を提供すること

○児童生徒質問紙調査項目結果一覧

※小学5年には義務教育学校第5学年、中学2年には義務教育学校第8学年が含まれます。

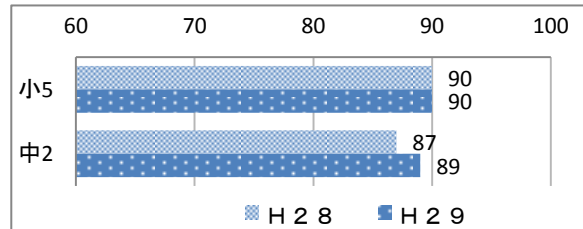
【小学校】質問事項1:朝食を毎日食べていますか。

学年	年	食べている	どちらかといえ ば食べている	どちらかといえ ば食べていない	食べていない
小学5年	H28	87	9	4	0
	H29	88	8	3	1
		96		4	



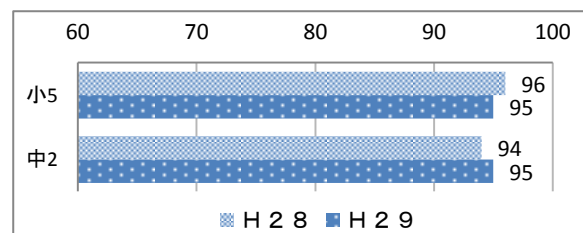
質問事項2(中1):学校に行くのは楽しいと思えますか。

学年	年	楽しいと思う	どちらかといえ ば楽しいと思う	どちらかといえ ば楽しいと思わない	楽しいと思わない
小学5年	H28	54	36	7	3
	H29	55	35	8	3
		90		11	
中学2年	H28	48	39	9	4
	H29	53	36	8	4
		89		12	



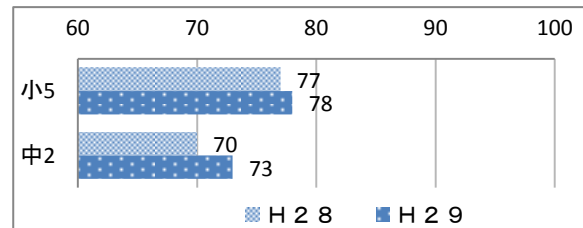
質問事項3(中2):ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。

学年	年	ある	どちらかといえ ばある	どちらかといえ ばない	ない
小学5年	H28	70	26	3	2
	H29	71	24	4	1
		95		5	
中学2年	H28	69	25	4	1
	H29	71	24	3	2
		95		5	



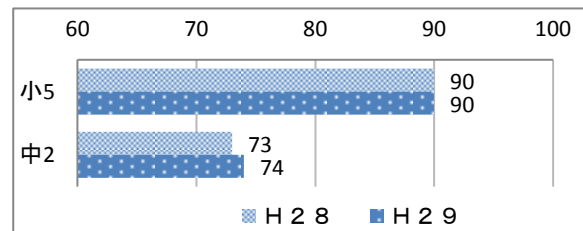
質問事項4(中3):自分にはよいところがあると思えますか。

学年	年	あると思う	どちらかといえ ばあると思う	どちらかといえ ばないと思う	ないと思う
小学5年	H28	31	46	15	7
	H29	34	44	14	7
		78		21	
中学2年	H28	24	46	20	9
	H29	26	47	18	9
		73		27	



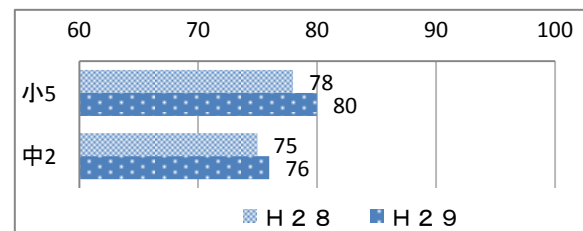
質問事項5(中4):あなたは、将来の夢や目標をもっていますか。

学年	年	もっている	どちらかといえ ばもっている	どちらかといえ ばもっていない	もっていない
小学5年	H28	72	18	6	4
	H29	72	18	6	4
		90		10	
中学2年	H28	42	31	15	11
	H29	44	30	15	11
		74		26	



質問事項6(中5):家の人(兄弟姉妹は除く)と学校での出来事について話をしますか。

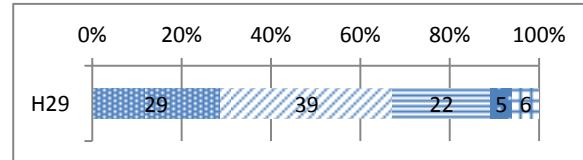
学年	年	している	どちらかといえ ばしている	あまりして いない	全くして いない
小学5年	H28	50	28	17	5
	H29	51	29	15	5
		80		20	
中学2年	H28	44	31	18	6
	H29	47	29	17	6
		76		23	



【中学校】質問事項6:平日(月~金)、学校の活動や課外活動を終えて帰宅する時刻は何時頃ですか。

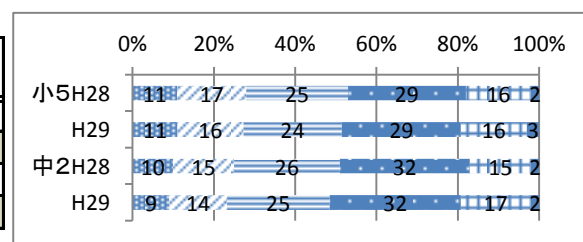
学年	年	午後6時より前	午後6時以降 午後7時より前	午後7時以降 午後8時より前	午後8時以降 午後9時より前	午後9時以降
中学2年	H29	29	39	22	5	6

新



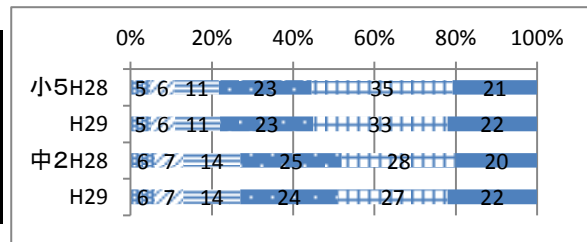
質問事項7:1日にどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりしますか。

学年	年	4時間以上	3時間以上 4時間より 少ない	2時間以上 3時間より 少ない	1時間以上 2時間より 少ない	1時間より 少ない	全く見たり 聞いたりしない
小学5年	H28	11	17	25	29	16	2
	H29	11	16	24	29	16	3
中学2年	H28	10	15	26	32	15	2
	H29	9	14	25	32	17	2



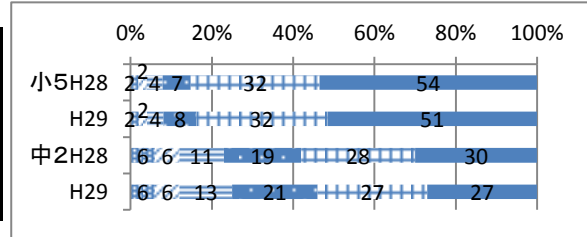
質問事項8: 1日にどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。

学年	年	4時間以上	3時間以上 4時間より 少ない	2時間以上 3時間より 少ない	1時間以上 2時間より 少ない	1時間より 少ない	全くしない
小学5年	H28	5	6	11	23	35	21
	H29	5	6	11	23	33	22
中学2年	H28	6	7	14	25	28	20
	H29	6	7	14	24	27	22



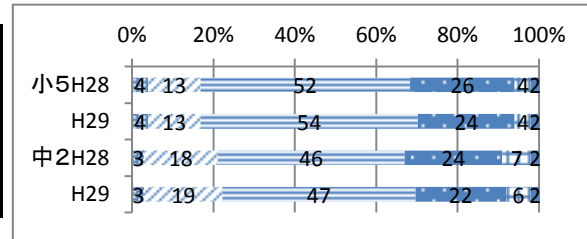
質問事項9: 1日にどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで電話やメール、インターネットをしますか。

学年	年	4時間以上	3時間以上 4時間より 少ない	2時間以上 3時間より 少ない	1時間以上 2時間より 少ない	1時間より 少ない	携帯電話や スマートフォン を持っていない
小学5年	H28	2	2	4	7	32	54
	H29	2	2	4	8	32	51
中学2年	H28	6	6	11	19	28	30
	H29	6	6	13	21	27	27



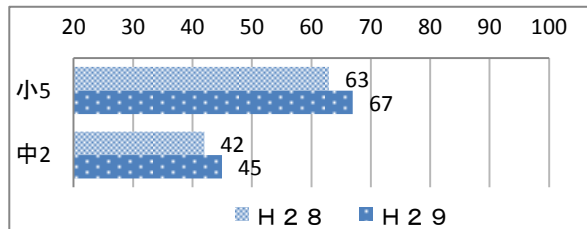
質問事項10: 学校の授業以外で、1日にどれくらいの時間、勉強しますか。

学年	年	3時間以上	2時間以上 3時間より 少ない	1時間以上 2時間より 少ない	30分以上 1時間より 少ない	30分より 少ない	全くしない
小学5年	H28	4	13	52	26	4	2
	H29	4	13	54	24	4	2
中学2年	H28	3	18	46	24	7	2
	H29	3	19	47	22	6	2



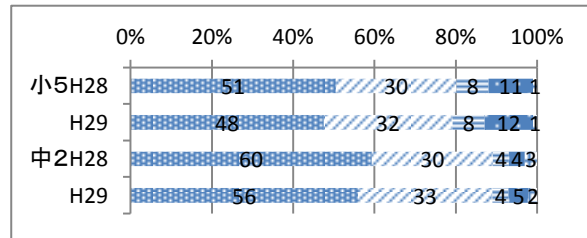
質問事項11: 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。

学年	年	している	どちらかといえ ばしている	どちらかといえ ばしていない	していない
小学5年	H28	25	38	22	14
	H29	29	38	20	13
中学2年	H28	9	33	34	24
	H29	11	34	32	23



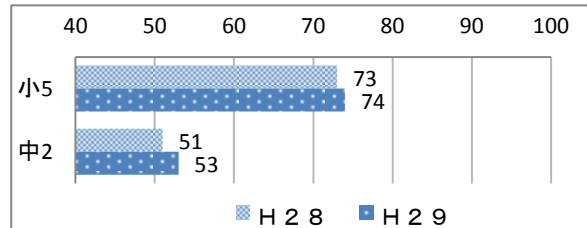
質問事項12: 家で勉強する内容は、次のどれが多いですか。

学年	年	宿題だけ	宿題のほかに 復習をする	宿題のほかに 予習をする	宿題のほかに 予習と復習をする	勉強していない
小学5年	H28	51	30	8	11	1
	H29	48	32	8	12	1
中学2年	H28	60	30	4	4	3
	H29	56	33	4	5	2



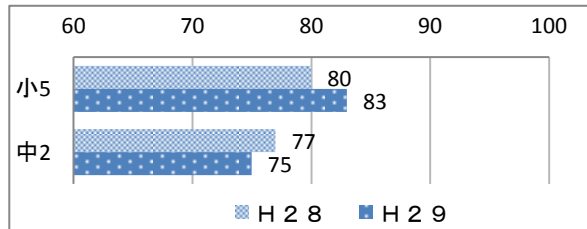
質問事項13: 家で調べたり、文章を書いたりする宿題がありますか。

学年	年	ある	どちらかといえ ばある	どちらかといえ ばない	ない
小学5年	H28	35	38	17	10
	H29	36	38	16	10
中学2年	H28	18	33	27	21
	H29	19	34	27	21



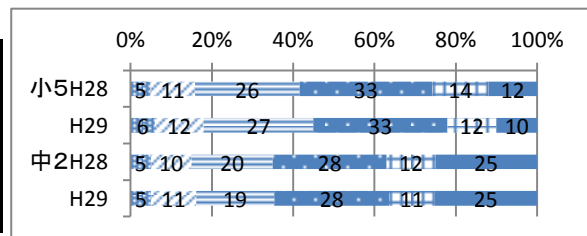
質問事項14: 読書は好きですか。

学年	年	好き	どちらかといえ ば好き	どちらかといえ ば好きではない	好きではない
小学5年	H28	45	35	13	7
	H29	49	34	12	6
中学2年	H28	44	33	15	8
	H29	43	32	16	9



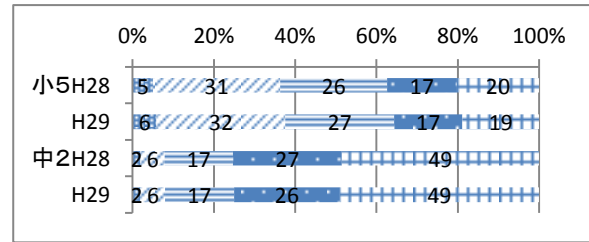
質問事項15: 学校の授業以外で1日にどれくらいの時間、読書をしますか。

学年	年	2時間以上	1時間以上 2時間より 少ない	30分以上 1時間より 少ない	10分以上 30分より 少ない	10分より 少ない	全くしない
小学5年	H28	5	11	26	33	14	12
	H29	6	12	27	33	12	10
中学2年	H28	5	10	20	28	12	25
	H29	5	11	19	28	11	25



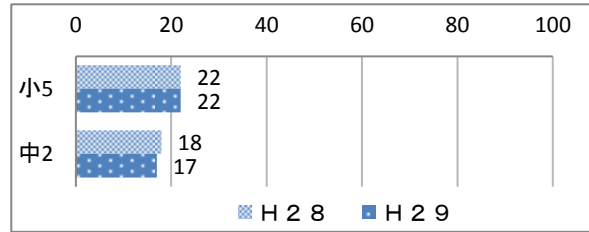
質問事項16: 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校の図書館(図書室)や地域の図書館にどれくらい行きますか。

学年	年	だいたい週に4回以上行く	週に1~3回程度行く	月に1~3回程度行く	年に数回程度行く	ほとんどまたは全く行かない
小学5年	H28	5	31	26	17	20
	H29	6	32	27	17	19
中学2年	H28	2	6	17	27	49
	H29	2	6	17	26	49



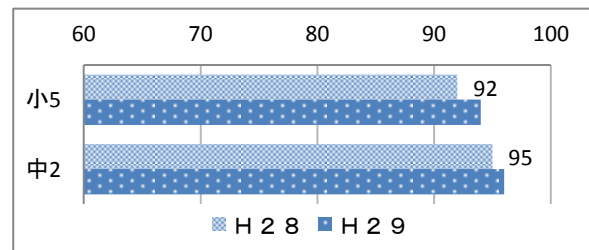
質問事項17: 新聞を読んでいますか。

学年	年	ほぼ毎日読んでいる	週に1~3回程度読んでいる	月に1~3回程度読んでいる	ほとんどまたは全く読まない
小学5年	H28	7	15	22	56
	H29	7	15	21	57
中学2年	H28	6	12	18	63
	H29	6	11	17	66



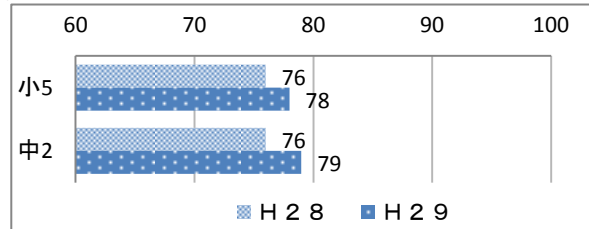
質問事項18: 人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
小学5年	H28	66	26	5	3
	H29	70	24	4	2
中学2年	H28	74	21	3	2
	H29	77	19	2	2



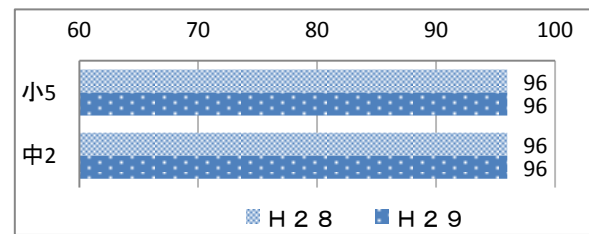
質問事項19: 先生やまわりの人は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
小学5年	H28	30	46	16	7
	H29	33	45	15	7
中学2年	H28	27	49	16	8
	H29	30	49	14	7



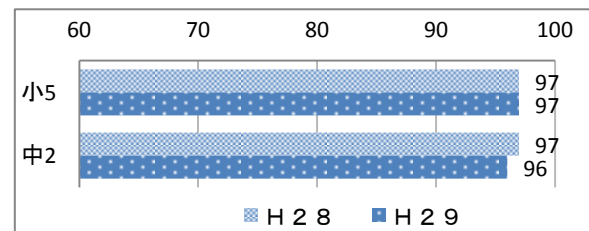
質問事項20: 人が困っているときは、進んで助けようと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
小学5年	H28	65	31	3	1
	H29	66	30	3	1
中学2年	H28	58	38	4	1
	H29	60	36	3	1



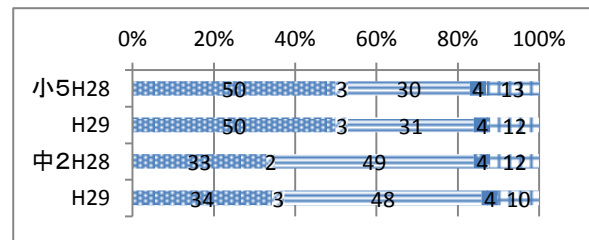
質問事項21: いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
小学5年	H28	83	14	2	1
	H29	85	12	2	1
中学2年	H28	79	18	3	1
	H29	80	16	3	1



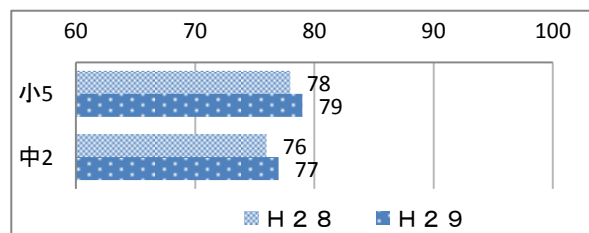
質問事項22: 自分が悩んでいることがあったとき、誰に相談することが多いですか。

学年	年	家族	学校の先生	友達	その他	相談する人はいない
小学5年	H28	50	3	30	4	13
	H29	50	3	31	4	12
中学2年	H28	33	2	49	4	12
	H29	34	3	48	4	10



質問事項23: 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。

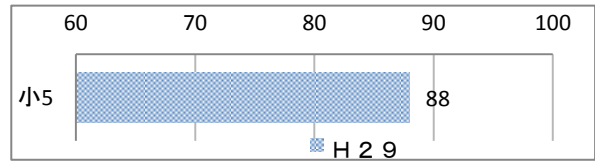
学年	年	取り組んでいる	どちらかといえば取り組んでいる	どちらかといえば取り組んでいない	取り組んでいない
小学5年	H28	34	44	16	6
	H29	36	43	16	5
中学2年	H28	31	45	16	8
	H29	32	45	16	8



【小学校】質問24: 道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする学習活動に取り組んでいますか。

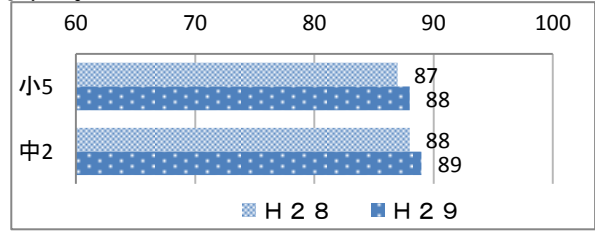
新

学年	年	取り組んでいる	どちらかといえば取り組んでいる	どちらかといえば取り組んでいない	取り組んでいない
小学5年	H28	45	43	10	2
	H29	88		12	



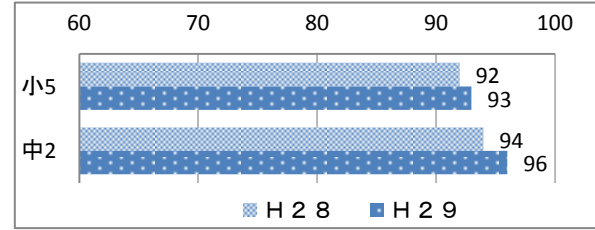
質問事項25(中24): 普段の授業で、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
小学5年	H28	50	37	9	3
		87		12	
	H29	54	34	9	3
		88		12	
中学2年	H28	45	43	9	3
		88		12	
	H29	48	41	8	3
		89		11	



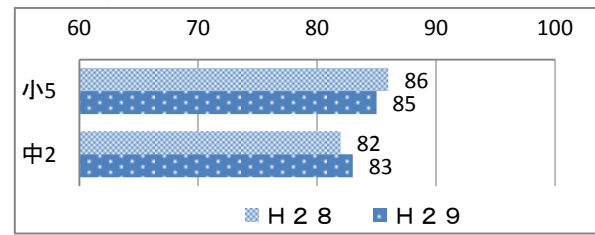
質問事項26(中25): 普段の授業で、目標(めあて・ねらい)が示されていると思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
小学5年	H28	63	29	5	2
		92		7	
	H29	66	27	5	2
		93		7	
中学2年	H28	66	28	4	1
		94		5	
	H29	71	25	3	1
		96		4	



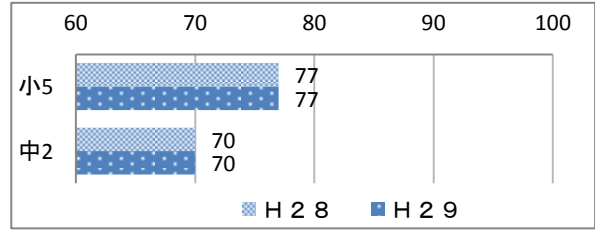
質問事項27(中26): 普段の授業で、最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていると思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
小学5年	H28	48	38	10	3
		86		13	
	H29	48	37	12	3
		85		15	
中学2年	H28	37	45	14	4
		82		18	
	H29	40	43	13	3
		83		16	



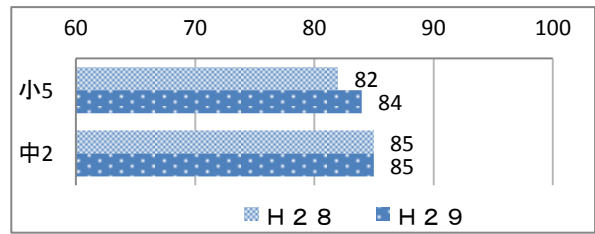
質問事項28(中27): 普段の授業で、いろいろな資料を使って発表する活動を行っていると思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
小学5年	H28	29	48	19	4
		77		23	
	H29	31	46	19	4
		77		23	
中学2年	H28	24	46	24	5
		70		29	
	H29	26	44	24	6
		70		30	



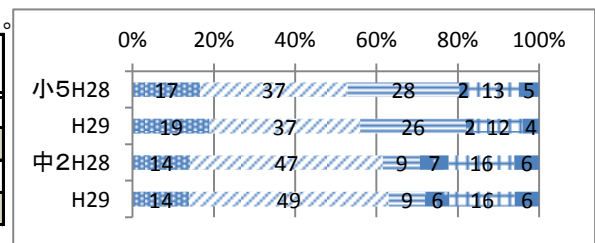
質問事項29(中28): 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
小学5年	H28	39	43	14	4
		82		18	
	H29	41	43	13	3
		84		16	
中学2年	H28	40	45	11	4
		85		15	
	H29	43	42	11	4
		85		15	



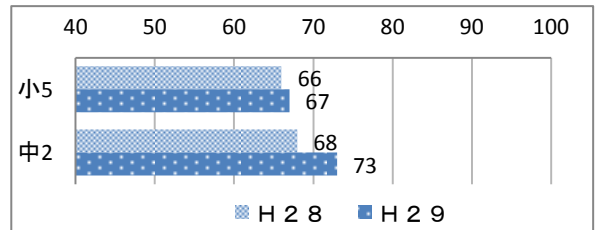
質問事項30(中29): 学校の授業で分からないことがあった時、どうすることが多いですか。

学年	年	先生にたずねる	友達にたずねる	家の人にたずねる	塾や家庭教師の先生にたずねる	自分で調べる	そのままにする
小学5年	H28	17	37	28	2	13	5
	H29	19	37	26	2	12	4
中学2年	H28	14	47	9	7	16	6
	H29	14	49	9	6	16	6



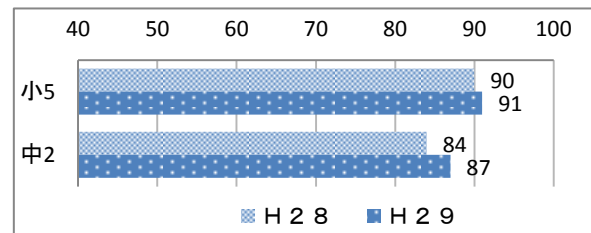
質問事項31(中30): 国語の勉強は好きですか。

学年	年	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば好きではない	好きではない
小学5年	H28	25	41	23	12
		66		35	
	H29	26	41	22	11
		67		33	
中学2年	H28	25	43	22	9
		68		31	
	H29	29	44	20	8
		73		28	



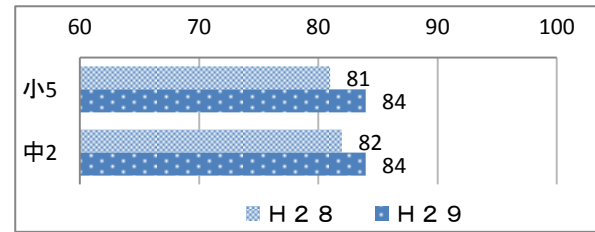
質問事項32(中31): 国語の授業の内容はよく分かりますか。

学年	年	よく分かる	どちらかといえば分かる	どちらかといえば分からない	分からない
小学5年	H28	42	48	8	2
	H29	44	47	7	2
中学2年	H28	29	55	12	4
	H29	33	54	10	3
		87		13	



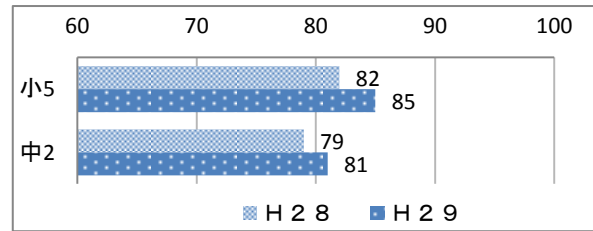
質問事項33(中32): 国語の授業で自分の考えを書くと、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか。

学年	年	書いている	どちらかといえば書いている	どちらかといえば書いていない	書いていない
小学5年	H28	35	46	15	3
	H29	39	45	13	3
中学2年	H28	34	48	14	4
	H29	37	47	12	3
		84		15	



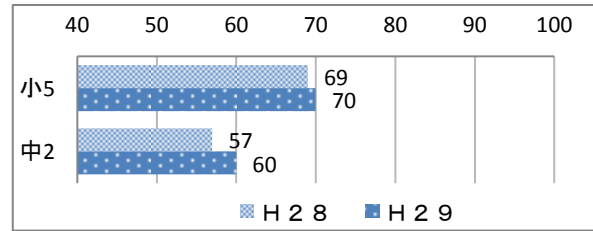
質問事項34(中33): 国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか。

学年	年	読んでいる	どちらかといえば読んでいる	どちらかといえば読んでいない	読んでいない
小学5年	H28	38	44	15	3
	H29	41	44	12	3
中学2年	H28	31	48	17	4
	H29	35	46	14	4
		81		18	



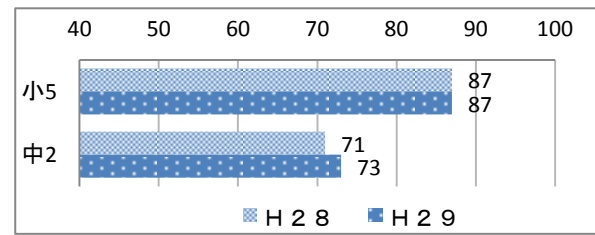
質問事項35(中34): 算数・数学の勉強は好きですか。

学年	年	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば好きではない	好きではない
小学5年	H28	40	29	19	12
	H29	43	27	18	12
中学2年	H28	28	29	25	18
	H29	31	29	24	16
		60		40	



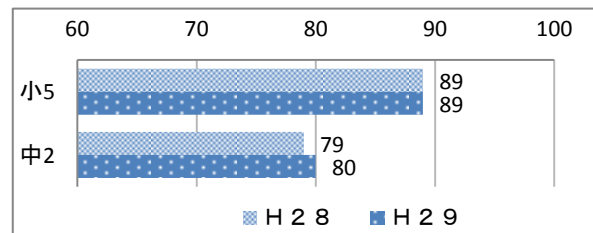
質問事項36(中35): 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか。

学年	年	よく分かる	どちらかといえば分かる	どちらかといえば分からない	分からない
小学5年	H28	48	39	10	3
	H29	51	36	10	3
中学2年	H28	31	40	20	9
	H29	34	39	18	8
		73		26	



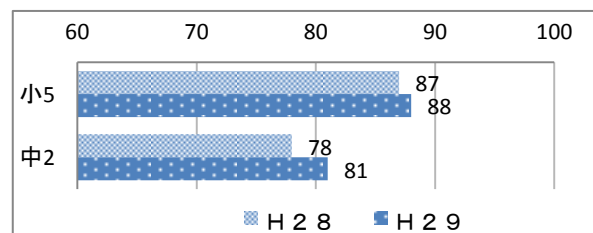
質問事項37(中36): 算数・数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけ(根拠)を理解するようにしていますか。

学年	年	している	どちらかといえばしている	どちらかといえばしていない	していない
小学5年	H28	50	39	9	2
	H29	53	36	9	2
中学2年	H28	36	43	15	6
	H29	39	41	15	5
		80		20	



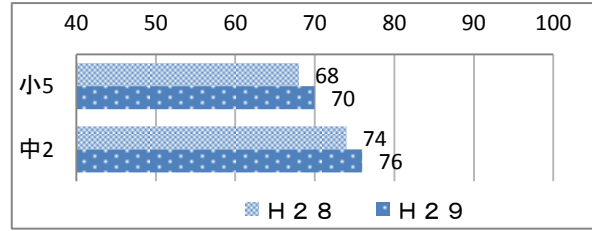
質問事項38(中37): 算数・数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか。

学年	年	考える	どちらかといえば考える	あまり考えない	全く考えない
小学5年	H28	52	35	11	2
	H29	53	35	10	2
中学2年	H28	37	41	17	5
	H29	41	40	15	4
		81		19	



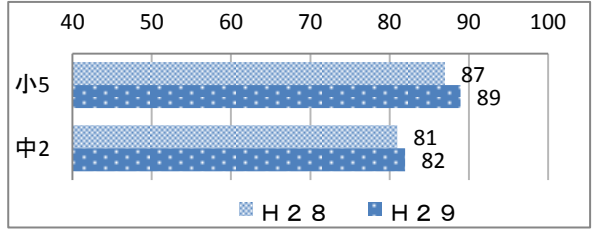
質問事項39(中38): 社会の勉強は好きですか。

学年	年	好き	どちらかといえは好き	どちらかといえは好きではない	好きではない
小学5年	H28	35	33	20	12
	H29	68	32	20	10
中学2年	H28	39	35	18	8
	H29	74	34	17	8
		76		25	



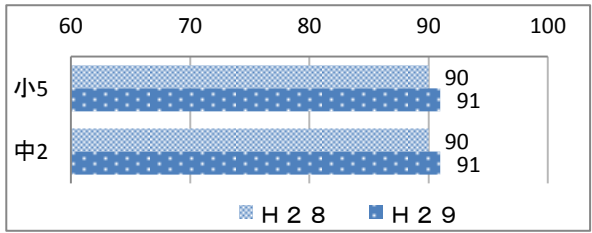
質問事項40(中39): 社会の授業の内容はよくわかりますか。

学年	年	よく分かる	どちらかといえは分かる	どちらかといえは分からない	分からない
小学5年	H28	46	41	10	3
	H29	87	38	9	2
中学2年	H28	37	44	15	5
	H29	81	42	13	5
		89		11	
		82		18	



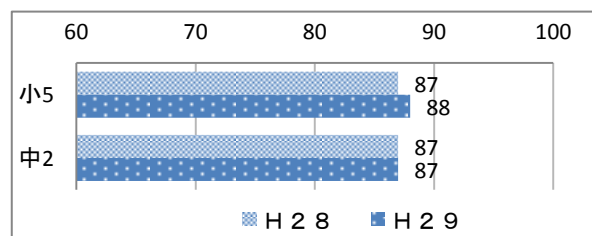
質問事項41(中40): 社会の授業で学習問題(学習課題)を解決するとき、資料から関係のあることを読み取る活動を行っていると思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない
小学5年	H28	54	36	8	2
	H29	90	35	7	2
中学2年	H28	51	39	8	2
	H29	90	36	7	2
		91		9	
		91		9	



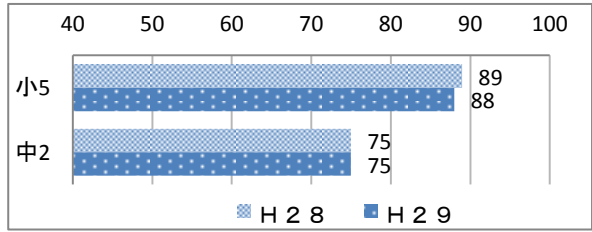
質問事項42(中41): 社会の授業で、資料から読み取ったことなどをもとに、学習問題(学習課題)について考える活動を行っていると思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない
小学5年	H28	44	43	11	2
	H29	87	41	10	2
中学2年	H28	44	43	10	3
	H29	87	40	10	3
		88		12	
		87		13	



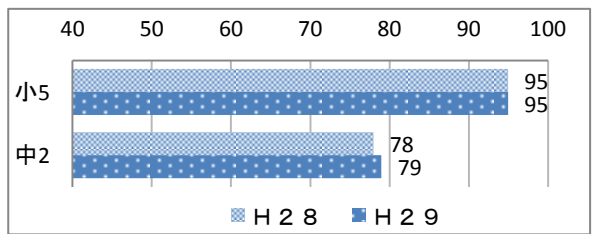
質問事項43(中42): 理科の勉強は好きですか。

学年	年	好き	どちらかといえは好き	どちらかといえは好きではない	好きではない
小学5年	H28	62	27	7	4
	H29	89	26	8	4
中学2年	H28	37	38	17	8
	H29	75	36	17	8
		88		12	
		75		25	



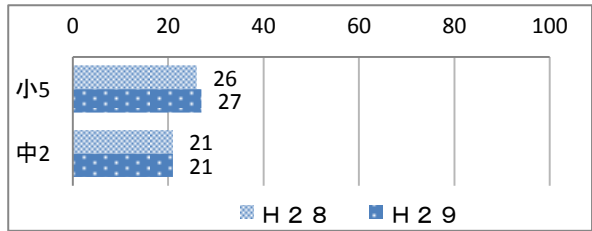
質問事項44(中43): 理科の授業の内容はよくわかりますか。

学年	年	よく分かる	どちらかといえは分かる	どちらかといえは分からない	分からない
小学5年	H28	64	31	4	1
	H29	95	30	4	1
中学2年	H28	34	44	16	6
	H29	78	43	16	6
		95		5	
		79		22	



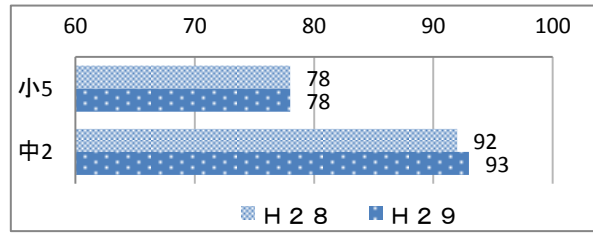
質問事項45(中44): 将来、理科や科学技術に関係する職業に就(つ)きたいと思います

学年	年	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない
小学5年	H28	11	15	31	43
	H29	26	15	30	43
中学2年	H28	8	13	29	50
	H29	21	12	28	51
		27		73	
		21		79	



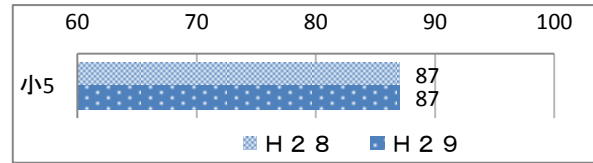
質問事項46(中45):理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行っています

学年	年	週1回以上	月1回以上	学期に1回以上	ほとんど または全く 行っていない
小学5年	H28	21	57	18	4
		78		22	
小学5年	H29	21	57	18	4
		78		22	
中学2年	H28	45	47	5	3
		92		8	
中学2年	H29	48	45	4	3
		93		7	



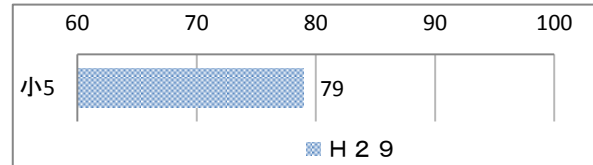
【小学校】質問事項47:外国語活動の授業は好きですか。

学年	年	好き	どちらかといえ ば好き	どちらかといえ ば好きではない	好きではない
小学5年	H28	62	25	8	5
		87		13	
小学5年	H29	60	27	8	5
		87		13	



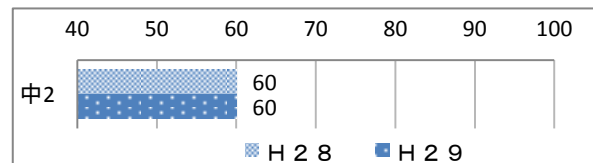
【小学校】質問事項48:外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思いたいですか。

学年	年	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
小学5年	H29	51	28	12	9
		79		21	



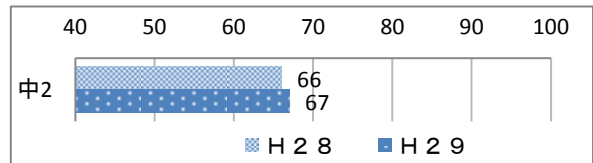
【中学校】質問事項46:英語の勉強は好きですか。

学年	年	好き	どちらかといえ ば好き	どちらかといえ ば好きではない	好きではない
中学2年	H28	28	32	24	16
		60		40	
中学2年	H29	28	32	24	16
		60		40	



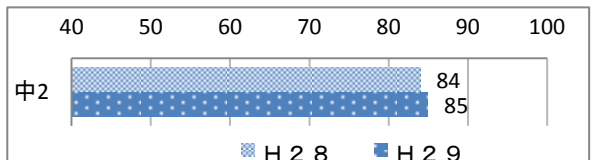
【中学校】質問事項47:英語の授業の内容はよくわかりますか。

学年	年	よく分かる	どちらかといえ ば分かる	どちらかといえ ば分からない	分からない
中学2年	H28	27	39	22	11
		66		33	
中学2年	H29	27	40	22	11
		67		33	



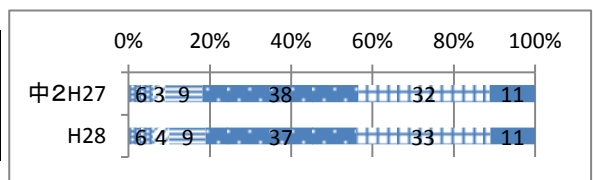
【中学校】質問事項48:英語の授業で、まとまりのある英文を聞いたり読んだりして、文章全体の概要や要点をとらえる活動をしていると思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
中学2年	H28	43	41	11	5
		84		16	
中学2年	H29	44	41	10	5
		85		15	



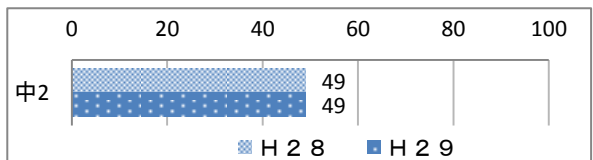
【中学校】質問事項49:将来、どの程度まで英語を身に付けたいと思っていますか。

学年	年	国際社会で活躍できる	海外の大学などに進学できる	高校・大学などで海外に短期留学できる	外国人とコミュニケーションを楽しめる	高校入試に対応できる	学校の授業以外での利用を考えていない
中学2年	H28	6	3	9	38	32	11
	H29	6	4	9	37	33	11



【中学校】質問事項50:国語・数学・社会・理科・英語の授業で、先生やあなた、クラスの人が、パソコンや電子黒板、タブレット、実物投影機、プロジェクターなどの情報機器を使って、説明したり発表したりする場面があると思いますか。

学年	年	ある	どちらかといえ ばある	どちらかといえ ばない	ない
中学2年	H28	22	27	19	33
		49		52	
中学2年	H29	23	26	18	33
		49		51	



平成29年度岩手県小・中学校学習定着度状況調査 学校質問紙調査結果

2017/10/4時点で回答

2016/10/12時点で回答

<岩手県>

H29の状況

H28の状況

	小学校		中学校	
回答校数	323	100.0%	162	100.0%

	小学校		中学校	
回答校数	332	100.0%	163	100.0%

※小学校に義務教育学校前期課程、中学校に同じく後期課程を含む

【授業】(学習調査対象学年)

1 授業の中で目標(めあて・ねらい)を児童生徒に示す活動を行っていますか。

	小学校		中学校	
1				
行っている	301	93.2%	146	90.1%
どちらかといえば行っている	21	6.5%	16	9.9%
あまり行っていない	1	0.3%	0	0.0%
行っていない	0	0.0%	0	0.0%

	小学校		中学校	
1				
行っている	306	92.2%	138	84.7%
どちらかといえば行っている	26	7.8%	25	15.3%
あまり行っていない	0	0.0%	0	0.0%
行っていない	0	0.0%	0	0.0%

2 授業の最後に学習したことを振り返る活動を行っていますか。

	小学校		中学校	
2				
行っている	245	75.9%	108	66.7%
どちらかといえば行っている	74	22.9%	54	33.3%
あまり行っていない	4	1.2%	0	0.0%
行っていない	0	0.0%	0	0.0%

	小学校		中学校	
2				
行っている	214	64.5%	102	62.6%
どちらかといえば行っている	114	34.3%	59	36.2%
あまり行っていない	4	1.2%	2	1.2%
行っていない	0	0.0%	0	0.0%

3 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、(小学校外国語活動)、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか。

	小学校		中学校	
3				
取り組んでいる	195	60.4%	79	48.8%
どちらかといえば取り組んでいる	122	37.8%	81	50.0%
あまり取り組んでいない	6	1.9%	2	1.2%
取り組んでいない	0	0.0%	0	0.0%

	小学校		中学校	
3				
取り組んでいる	179	53.9%	82	50.3%
どちらかといえば取り組んでいる	149	44.9%	77	47.2%
あまり取り組んでいない	4	1.2%	4	2.5%
取り組んでいない	0	0.0%	0	0.0%

4 児童生徒の様々な考えを引き出ししたり、思考を深めたりするような発問や指導をしていますか。

	小学校		中学校	
4				
している	173	53.6%	71	43.8%
どちらかといえばしている	145	44.9%	91	56.2%
あまりしていない	5	1.5%	0	0.0%
していない	0	0.0%	0	0.0%

	小学校		中学校	
4				
している	147	44.3%	65	39.9%
どちらかといえばしている	182	54.8%	93	57.1%
あまりしていない	3	0.9%	5	3.1%
していない	0	0.0%	0	0.0%

5 児童生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めていますか。

	小学校		中学校	
5				
進めている	230	71.2%	96	59.3%
どちらかといえば進めている	93	28.8%	66	40.7%
あまり進めていない	0	0.0%	0	0.0%
進めていない	0	0.0%	0	0.0%

	小学校		中学校	
5				
進めている	220	66.3%	85	52.1%
どちらかといえば進めている	111	33.4%	77	47.2%
あまり進めていない	1	0.3%	1	0.6%
進めていない	0	0.0%	0	0.0%

6 本時の指導目標が達成できたかどうかを、教師が確認する場面を授業に位置付けていますか。

	小学校		中学校	
6				
位置付けている	156	48.3%	56	34.6%
どちらかといえば位置付けている	162	50.2%	102	63.0%
あまり位置付けていない	5	1.5%	4	2.5%
位置付けていない	0	0.0%	0	0.0%

	小学校		中学校	
6				
位置付けている	153	46.1%	52	31.9%
どちらかといえば位置付けている	174	52.4%	105	64.4%
あまり位置付けていない	5	1.5%	6	3.7%
位置付けていない	0	0.0%	0	0.0%

7 学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をするなど)の指導をしていますか。

	小学校		中学校	
7				
指導している	165	51.1%	69	42.6%
どちらかといえば指導している	149	46.1%	90	55.6%
あまり指導していない	9	2.8%	3	1.9%
指導していない	0	0.0%	0	0.0%

	小学校		中学校	
7				
指導している	192	57.8%	86	52.8%
どちらかといえば指導している	125	37.7%	72	44.2%
あまり指導していない	15	4.5%	5	3.1%
指導していない	0	0.0%	0	0.0%

8 学習方法(適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど)に関する指導をしていますか。

	小学校		中学校	
8				
指導している	219	67.8%	96	59.3%
どちらかといえば指導している	104	32.2%	66	40.7%
あまり指導していない	0	0.0%	0	0.0%
指導していない	0	0.0%	0	0.0%

	小学校		中学校	
8				
指導している	228	68.7%	100	61.3%
どちらかといえば指導している	104	31.3%	62	38.0%
あまり指導していない	0	0.0%	1	0.6%
指導していない	0	0.0%	0	0.0%

9 児童生徒に対して、資料を使って発表ができるよう指導していますか。

	小学校		中学校	
9				
指導している	78	24.1%	31	19.1%
どちらかといえば指導している	207	64.1%	105	64.8%
あまり指導していない	38	11.8%	26	16.0%
指導していない	0	0.0%	0	0.0%

	小学校		中学校	
9				
指導している	79	23.8%	24	14.7%
どちらかといえば指導している	206	62.0%	117	71.8%
あまり指導していない	47	14.2%	22	13.5%
指導していない	0	0.0%	0	0.0%

10 児童生徒が自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書く指導をしていますか。

	小学校		中学校	
10				
指導している	127	39.3%	37	22.8%
どちらかといえば指導している	179	55.4%	110	67.9%
あまり指導していない	17	5.3%	15	9.3%
指導していない	0	0.0%	0	0.0%

	小学校		中学校	
10				
指導している	109	32.8%	32	19.6%
どちらかといえば指導している	202	60.8%	121	74.2%
あまり指導していない	21	6.3%	10	6.1%
指導していない	0	0.0%	0	0.0%

11 児童生徒に対して、発展的な学習の指導を行いましたか。

11	小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合
行っている	43	13.3%	21	13.0%
どちらかといえば行っている	188	58.2%	80	49.4%
あまり行っていない	92	28.5%	61	37.7%
行っていない	0	0.0%	0	0.0%

小学校		中学校	
人数	割合	人数	割合
41	12.3%	15	9.2%
197	59.3%	90	55.2%
94	28.3%	58	35.6%
0	0.0%	0	0.0%

12 学習内容に応じて、チームティーチングによる指導を行っていますか。(算数・数学)

12	小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合
年間の授業のうち、およそ 3/4 以上で行った	83	25.7%	75	46.3%
年間の授業のうち、およそ 1/2 以上 3/4 未満で行った	43	13.3%	24	14.8%
年間の授業のうち、およそ 1/4 以上 1/2 未満で行った	34	10.5%	20	12.3%
年間の授業のうち、およそ 1/4 未満で行った	36	11.1%	9	5.6%
行っていない	127	39.3%	34	21.0%

小学校		中学校	
人数	割合	人数	割合
106	31.9%	65	39.9%
30	9.0%	30	18.4%
26	7.8%	20	12.3%
42	12.7%	12	7.4%
128	38.6%	36	22.1%

13 学習内容に応じて、習熟度別の少人数による指導を行っていますか。(算数・数学)

13	小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合
年間の授業のうち、およそ 3/4 以上で行った	26	8.0%	6	3.7%
年間の授業のうち、およそ 1/2 以上 3/4 未満で行った	16	5.0%	8	4.9%
年間の授業のうち、およそ 1/4 以上 1/2 未満で行った	27	8.4%	7	4.3%
年間の授業のうち、およそ 1/4 未満で行った	51	15.8%	22	13.6%
行っていない	203	62.8%	119	73.5%

小学校		中学校	
人数	割合	人数	割合
29	8.7%	11	6.7%
21	6.3%	5	3.1%
24	7.2%	13	8.0%
52	15.7%	22	13.5%
206	62.0%	112	68.7%

14 コンピュータ等の情報通信技術(パソコン、タブレット端末、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネット等)を活用した授業を1クラス当たりどの程度行っていますか。

14	小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合
週1回以上	100	31.0%	62	38.3%
月1回以上	171	52.9%	66	40.7%
学期に1回以上	50	15.5%	29	17.9%
ほとんど、または、全く行っていない	2	0.6%	5	3.1%

小学校		中学校	
人数	割合	人数	割合
89	26.8%	59	36.2%
181	54.5%	60	36.8%
60	18.1%	40	24.5%
2	0.6%	4	2.5%

【家庭学習】

15 授業内容の理解を促進する家庭学習の課題(宿題)を、計画的に出していますか。(小5算数、中2数学・英語)

15	小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合
出している	270	83.6%	99	61.1%
どちらかといえば出している	52	16.1%	60	37.0%
あまり出していない	1	0.3%	3	1.9%
出していない	0	0.0%	0	0.0%

小学校		中学校	
人数	割合	人数	割合
280	84.3%	100	61.3%
50	15.1%	60	36.8%
2	0.6%	3	1.8%
0	0.0%	0	0.0%

16 家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えていますか。

16	小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合
与えている	81	25.1%	18	11.1%
どちらかといえば与えている	155	48.0%	67	41.4%
あまり与えていない	87	26.9%	74	45.7%
与えていない	0	0.0%	3	1.9%

小学校		中学校	
人数	割合	人数	割合
67	20.2%	21	12.9%
173	52.1%	74	45.4%
92	27.7%	66	40.5%
0	0.0%	2	1.2%

17 基礎的内容の問題に、年間を通じて計画的・継続的に取り組ませていますか。

17	小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合
取り組ませている	255	78.9%	98	60.5%
どちらかといえば取り組ませている	65	20.1%	61	37.7%
あまり取り組ませない	3	0.9%	3	1.9%
取り組ませない	0	0.0%	0	0.0%

小学校		中学校	
人数	割合	人数	割合
263	79.2%	92	56.4%
67	20.2%	64	39.3%
2	0.6%	7	4.3%
0	0.0%	0	0.0%

18 家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図っていますか。

18	小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合
共通理解を図っている	224	69.3%	72	44.4%
どちらかといえば共通理解を図っている	89	27.6%	76	46.9%
あまり共通理解を図っていない	10	3.1%	14	8.6%
共通理解を図っていない	0	0.0%	0	0.0%

小学校		中学校	
人数	割合	人数	割合
221	66.6%	81	49.7%
99	29.8%	67	41.1%
12	3.6%	15	9.2%
0	0.0%	0	0.0%

19 保護者に対して、児童生徒の家庭学習を促すような働きかけを行っていますか。

19	小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合
行っている	233	72.1%	57	35.2%
どちらかといえば行っている	82	25.4%	80	49.4%
あまり行っていない	8	2.5%	25	15.4%
行っていない	0	0.0%	0	0.0%

小学校		中学校	
人数	割合	人数	割合
219	66.0%	63	38.7%
109	32.8%	82	50.3%
4	1.2%	18	11.0%
0	0.0%	0	0.0%

【学校の取組】

20 県学習定着度状況調査について、目標を設定して計画的に取り組みましたか。

20	小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合
取り組んだ	227	70.3%	86	53.1%
どちらかといえば取り組んだ	91	28.2%	68	42.0%
あまり取り組めなかった	5	1.5%	8	4.9%
取り組めなかった	0	0.0%	0	0.0%

小学校		中学校	
人数	割合	人数	割合
206	62.0%	66	40.5%
117	35.2%	89	54.6%
9	2.7%	8	4.9%
0	0.0%	0	0.0%

21 昨年度の調査結果を参考にするなどして、分かる授業の工夫・改善に取り組んでいますか。

21	小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合
取り組んだ	202	62.5%	75	46.3%
どちらかといえば取り組んだ	117	36.2%	84	51.9%
あまり取り組めなかった	3	0.9%	3	1.9%
取り組めなかった	1	0.3%	0	0.0%

小学校		中学校	
人数	割合	人数	割合
189	56.9%	75	46.0%
139	41.9%	85	52.1%
4	1.2%	3	1.8%
0	0.0%	0	0.0%

22 昨年度の諸調査の自校の分析結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか。

22	小学校		中学校	
	活用した	213 65.9%	65 40.1%	
どちらかといえば活用した	108	33.4%	94	58.0%
あまり活用していない	2	0.6%	3	1.9%

小学校		中学校	
活用した	169 50.9%	55 33.7%	
どちらかといえば活用した	156 47.0%	105 64.4%	
あまり活用していない	7 2.1%	3 1.8%	

23 昨年度の県学調の結果を全国学調と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行いましたか。

23	小学校		中学校	
	行った	168 52.0%	57 35.2%	
どちらかといえば行った	146	45.2%	99	61.1%
あまり行っていない	9	2.8%	6	3.7%

小学校		中学校	
行った	175 52.7%	53 32.5%	
どちらかといえば行った	145 43.7%	96 58.9%	
あまり行っていない	12 3.6%	14 8.6%	

24 県学調・全国学調の問題の一部を、全教員で解いてみる時間を設定しましたか。

24	小学校		中学校	
	設定し、実施した	233 72.1%	70 43.2%	
設定し、年度中に実施予定である	87	26.9%	77	47.5%
設定していない	3	0.9%	15	9.3%

小学校		中学校	
設定し、実施した	225 67.8%	51 31.3%	
設定し、年度中に実施予定である	97 29.2%	85 52.1%	
設定していない	10 3.0%	27 16.6%	

25 授業改善に向けて、校内研修に位置付けた教員相互の授業参観に取り組んでいますか。

25	小学校		中学校	
	取り組んでいる	284 87.9%	117 72.2%	
どちらかといえば取り組んでいる	36	11.1%	37	22.8%
あまり取り組んでいない	3	0.9%	8	4.9%
取り組んでいない	0	0.0%	0	0.0%

小学校		中学校	
取り組んでいる	265 79.8%	112 68.7%	
どちらかといえば取り組んでいる	54 16.3%	41 25.2%	
あまり取り組んでいない	11 3.3%	10 6.1%	
取り組んでいない	2 0.6%	0 0.0%	

26 校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか。

26	小学校		中学校	
	ほぼ毎日	225 69.7%	66 40.7%	
週に2~3回程度	82	25.4%	65	40.1%
月に数回程度	16	5.0%	31	19.1%
ほとんど行っていない	0	0.0%	0	0.0%

小学校		中学校	
ほぼ毎日	210 63.3%	57 35.0%	
週に2~3回程度	100 30.1%	76 46.6%	
月に数回程度	22 6.6%	29 17.8%	
ほとんど行っていない	0 0.0%	1 0.6%	

27 Gアップシートを活用(授業の補充、家庭学習等)していますか。

27	小学校		中学校	
	いる(中学校)		133	82.1%
いない(中学校)		29	17.9%	

小学校		中学校	
いる		147	90.2%
いない		16	9.8%

28 昨年度の県学習定着度状況調査の「集計・分析シート」の内容等から、学習に関する状況や課題を全ての教員で共有し、学校として組織的に課題の分析や指導方法の改善等に取り組んでいますか。

28	小学校		中学校	
	取り組んでいる	157 48.6%	52 32.1%	
どちらかといえば取り組んでいる	157	48.6%	101	62.3%
あまり取り組んでいない	8	2.5%	9	5.6%
取り組んでいない	1	0.3%	0	0.0%

小学校		中学校	
取り組んでいる	150 45.2%	56 34.4%	
どちらかといえば取り組んでいる	170 51.2%	97 59.5%	
あまり取り組んでいない	12 3.6%	10 6.1%	
取り組んでいない	0 0.0%	0 0.0%	

29 昨年度の「『確かな学び、豊かな学び』実現プラン」に記載した調査結果の分析内容や目標設定、取組計画などについて、年度をまたいで教職員間で共有し、指導改善に向けて活用していますか。

29	小学校		中学校	
	活用している	153 47.4%	64 39.5%	
どちらかといえば活用している	158	48.9%	91	56.2%
あまり活用していない	12	3.7%	7	4.3%
活用していない	0	0.0%	0	0.0%

小学校		中学校	
活用している	137 41.3%	44 27.0%	
どちらかといえば活用している	172 51.8%	98 60.1%	
あまり活用していない	23 6.9%	21 12.9%	
活用していない	0 0.0%	0 0.0%	

30 昨年度の学校評価や本年度の全国学調の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか。

30	小学校		中学校	
	行った	120 37.2%	41 25.3%	
どちらかといえば行った	164	50.8%	89	54.9%
あまり行っていない	39	12.1%	32	19.8%

小学校		中学校	
平成29年度より調査			

31 本年度の全国学調の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか。

31	小学校		中学校	
	行った	87 26.9%	48 29.6%	
どちらかといえば行った	108	33.4%	39	24.1%
あまり行っていない	128	39.6%	75	46.3%

小学校		中学校	
平成29年度より調査			

32 本年度の全国学調の分析結果について、近隣等の中学校(小学校)と成果や課題を共有しましたか。

32	小学校		中学校	
	行った	53 16.4%	38 23.5%	
どちらかといえば行った	79	24.5%	43	26.5%
あまり行っていない	191	59.1%	81	50.0%

小学校		中学校	
平成29年度より調査			

33 平日の部活動や父母会の活動、スポーツ少年団等の活動について、部活動顧問や父母会・スポーツ少年団活動の責任者や指導者等に対して児童生徒の帰宅時刻が遅くならないよう、学校からの働きかけをしていますか。

33	小学校		中学校	
	している	27 8.4%	83 51.2%	
どちらかといえばしている	62	19.2%	53	32.7%
あまりしていない	103	31.9%	13	8.0%
していない	83	25.7%	5	3.1%
帰宅時刻が遅くなる活動はない	48	14.9%	8	4.9%

小学校		中学校	
している	30 9.0%	66 40.5%	
どちらかといえばしている	59 17.8%	60 36.8%	
あまりしていない	114 34.3%	22 13.5%	
していない	74 22.3%	4 2.5%	
帰宅時刻が遅くなる活動はない	55 16.6%	11 6.7%	

34 県学調, (中学校新入生学調), 全国学調について, 調査結果の児童生徒個別シートを速やかに返却
 していますか。

34	小学校		中学校	
返却している	306	94.7%	156	96.3%
返却していない	17	5.3%	6	3.7%

小学校		中学校	
327	98.5%	156	95.7%
5	1.5%	7	4.3%

35 県学調, (中学校新入生学調), 全国学調について, 調査結果の児童生徒個別シートを用いた学習相談
 等の機会を設定していますか。

35	小学校		中学校	
設定している	127	39.3%	66	40.7%
設定していない	196	60.7%	96	59.3%

小学校		中学校	
136	41.0%	65	39.9%
196	59.0%	98	60.1%